

日本保険薬局協会 流通問題検討委員会・薬局機能創造委員 会

2020年度 会員管理薬剤師アンケート 報告書

2021年3月

- 実施主体
委員会
日本保険薬局協会
流通問題検討委員会・薬局機能創造
- 実施目的
今後の協会の発展を支える保険薬局全般に関する情報源の確立
- アンケート内容
薬局薬剤師の取組に関する情報を中心としたアンケート
- アンケート対象
日本保険薬局協会会員薬局管理薬剤師
- アンケート方法
オンラインWEB調査
- アンケート実施期間
2021年1月20日～2021年2月15日
- アンケート案内方法
正会員の協会担当者にメールの配信
協会に登録している管理薬剤師へメールの配信
- 回答数
4348薬局

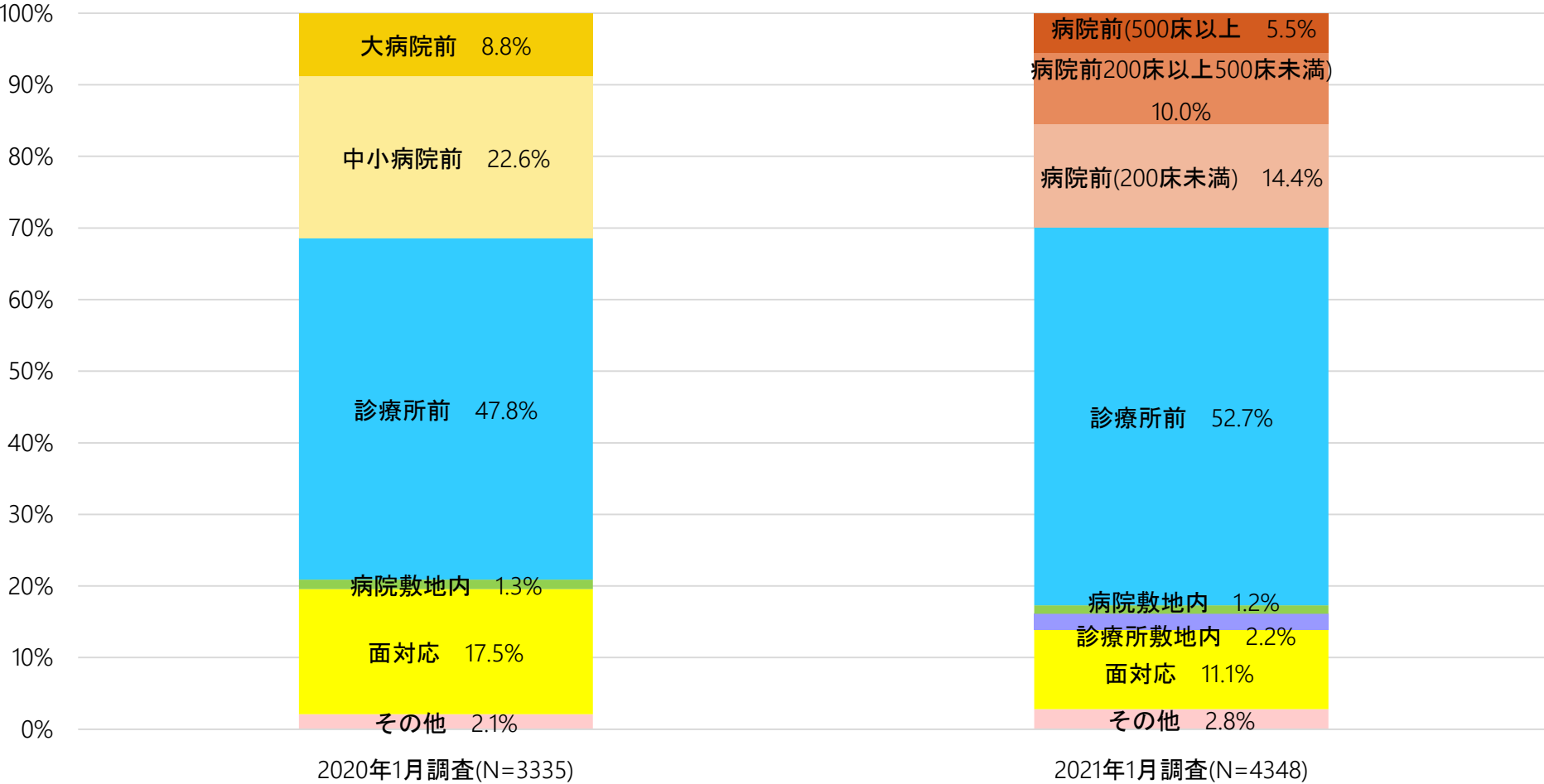
調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-1. 貴店の立地形態について教えてください。(N=4348)

○病院前(500床以上)...240件 ○病院前(200床以上500床未満)...436件 ○病院前(200床未満)...626件 ○診療所前...2291件

○病院敷地内...54件 ○診療所敷地内...96件 ○面対応...482件 ○その他...123件

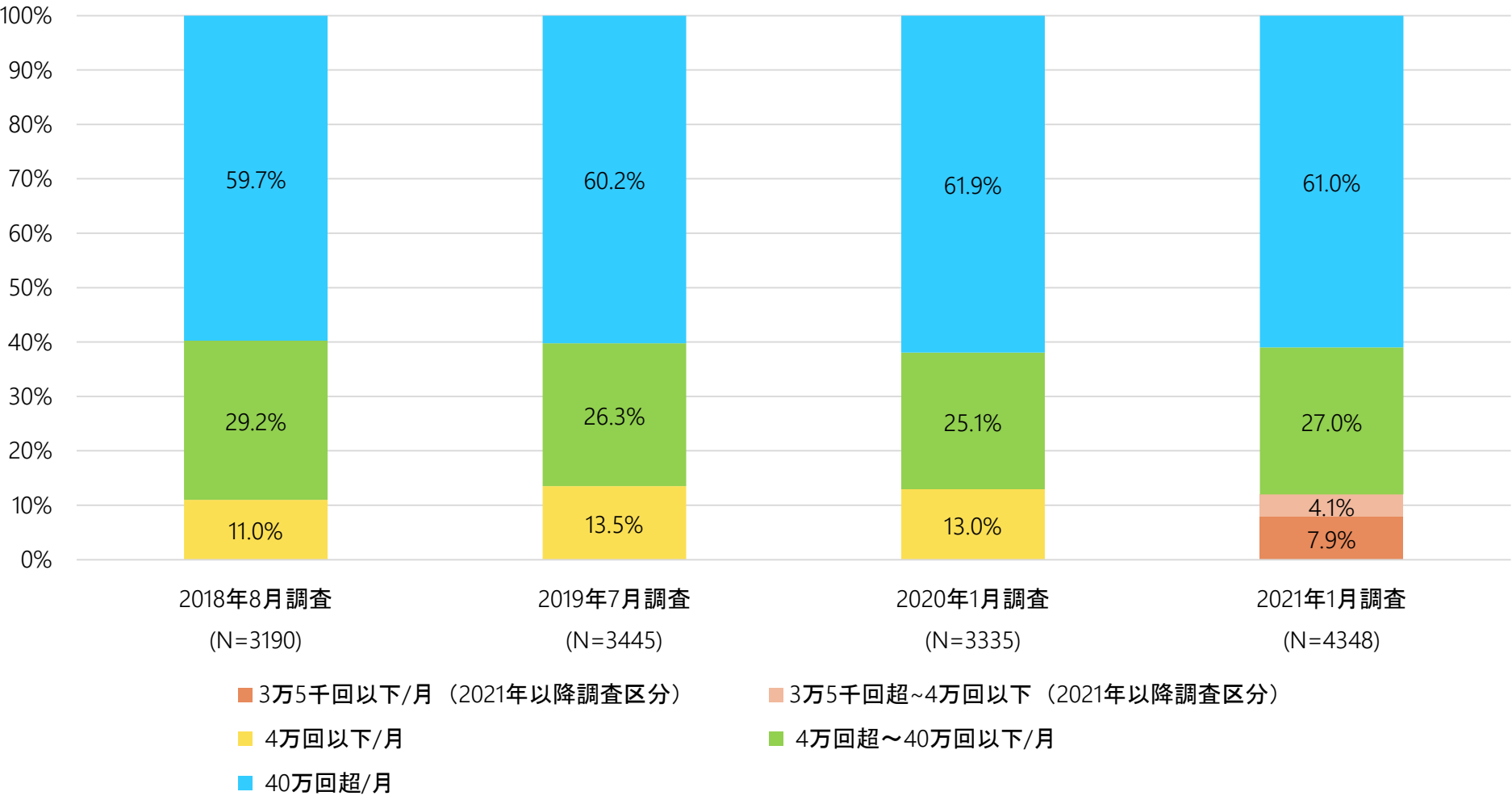


調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-2. 貴店が所属する薬局グループ全体の処方箋受付回数についてお教えてください。(N=4348)

○3万5千回以下/月...344件 ○3万5千回超~4万回以下...179件 ○4万回超~40万回以下/月...1172件 ○40万回超/月...2653件



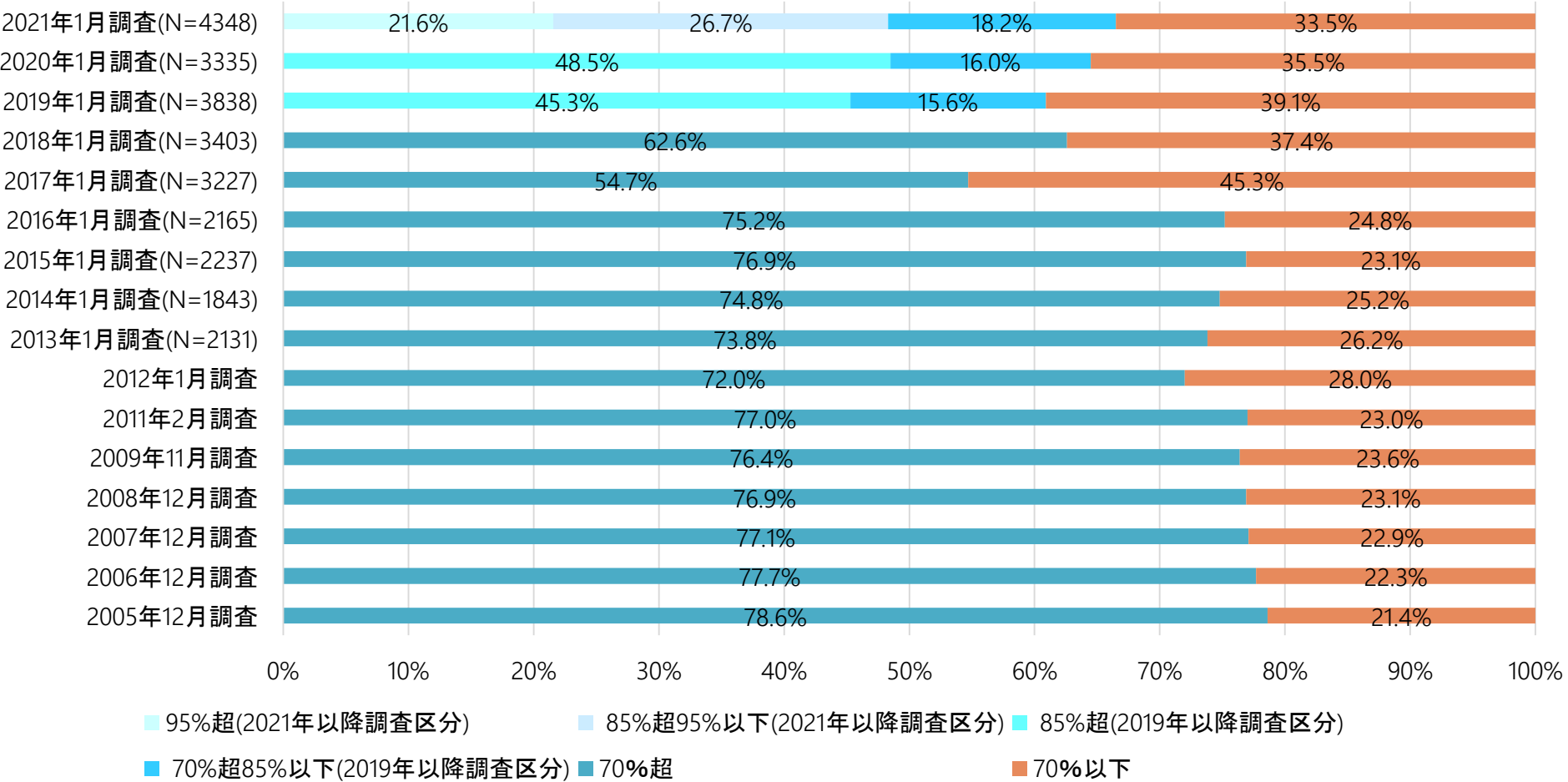
調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-3. 貴店の処方せん集中度について、お教えてください。(N=4348)

処方せん集中度とは、貴店舗の調剤基本料を算定する際の値とお考えください。

○95%超...940件 ○85%超95%以下...1159件 ○70%超85%以下...792件 ○70%以下...1457件



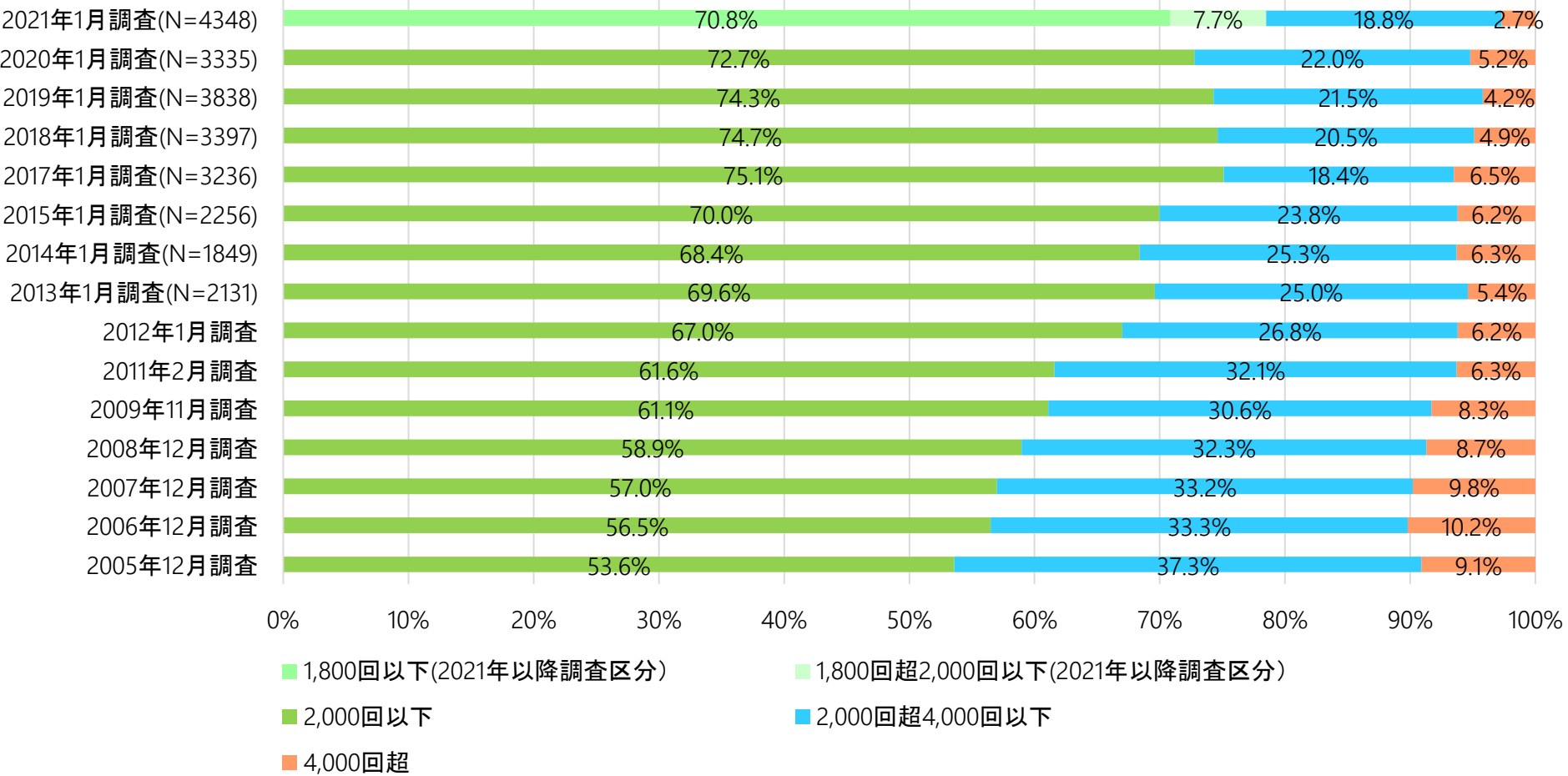
調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-4. 月間平均処方せん受付回数について、お教えてください。(N=4348)

2020年1月～2020年12月の月間平均処方せん受付回数とお考えください。

○1800回以下...3080件 ○1800回超～2000回以下...335件 ○2000回超～4000回以下...816件 ○4000回超...117件

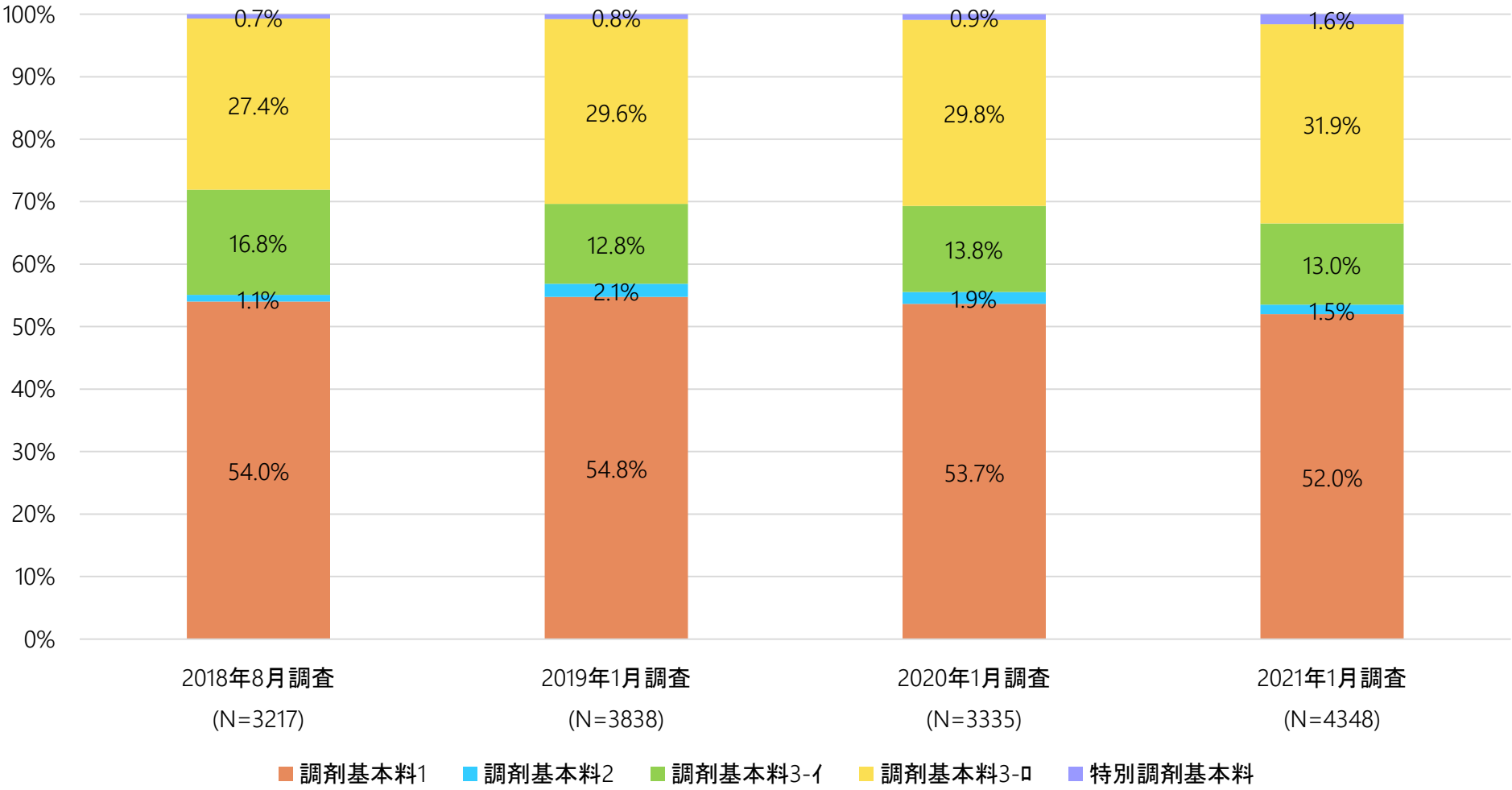


調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-5. 貴店における調剤基本料について、お教えてください。(N=4348)

○調剤基本料1...2263件 ○調剤基本料2...66件 ○調剤基本料3-イ...564件 ○調剤基本料3-ロ...1386件 ○特別調剤基本料...69件



調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-6. 貴店に所属する常勤薬剤師数について教えてください（2021年1月1日時点）。※常勤薬剤師とは、週32時間以上勤務する薬剤師をさします。

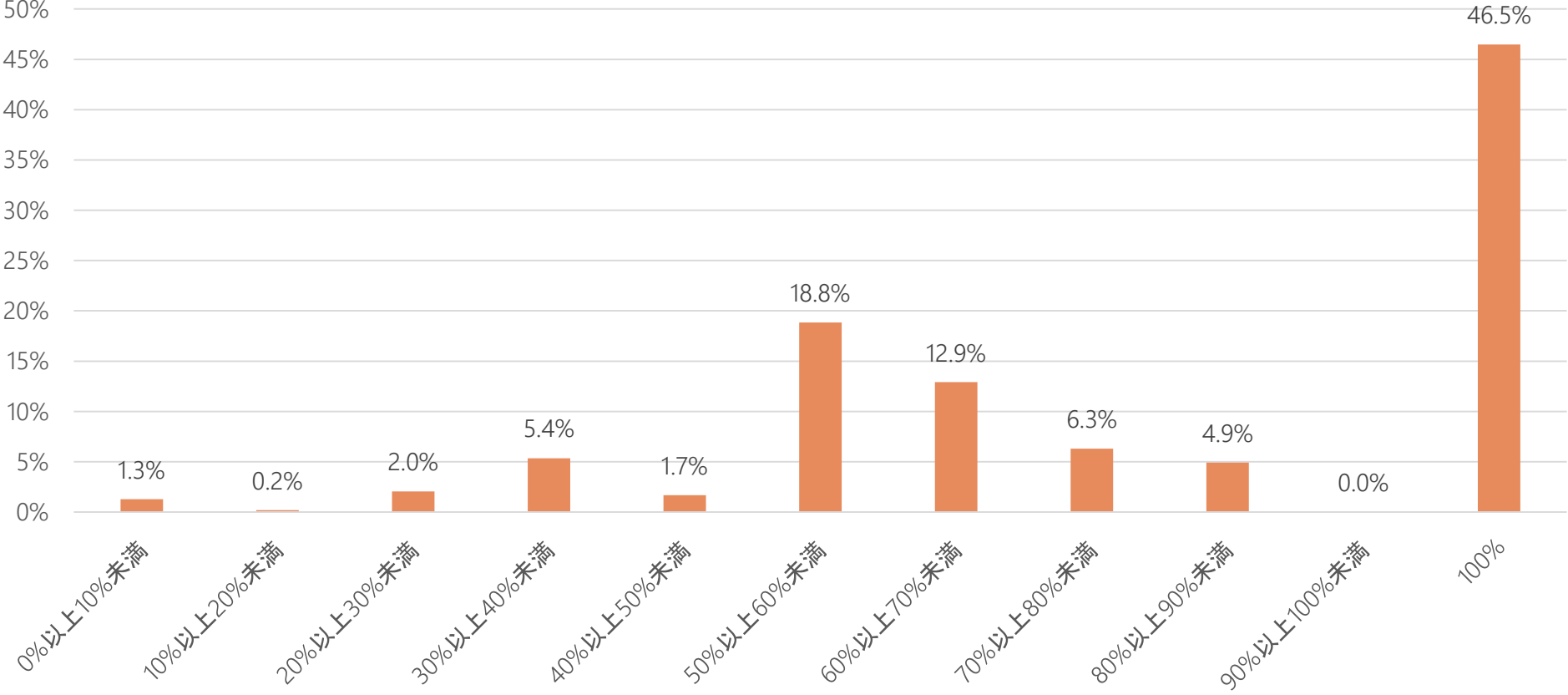
・常勤薬剤師数 名 ・うち貴店に1年以上勤務する常勤薬剤師数 名

貴店の常勤薬剤師のうち貴店に1年以上勤務する常勤薬剤師数の割合(N=4014)

○0%以上10%未満...51件 ○10%以上20%未満...8件 ○20%以上30%未満...82件 ○30%以上40%未満...215件

○40%以上50%未満...67件 ○50%以上60%未満...756件 ○60%以上70%未満...518件 ○70%以上80%未満...253件

○80%以上90%未満...197件 ○90%以上100%未満...1件 ○100%...1866件

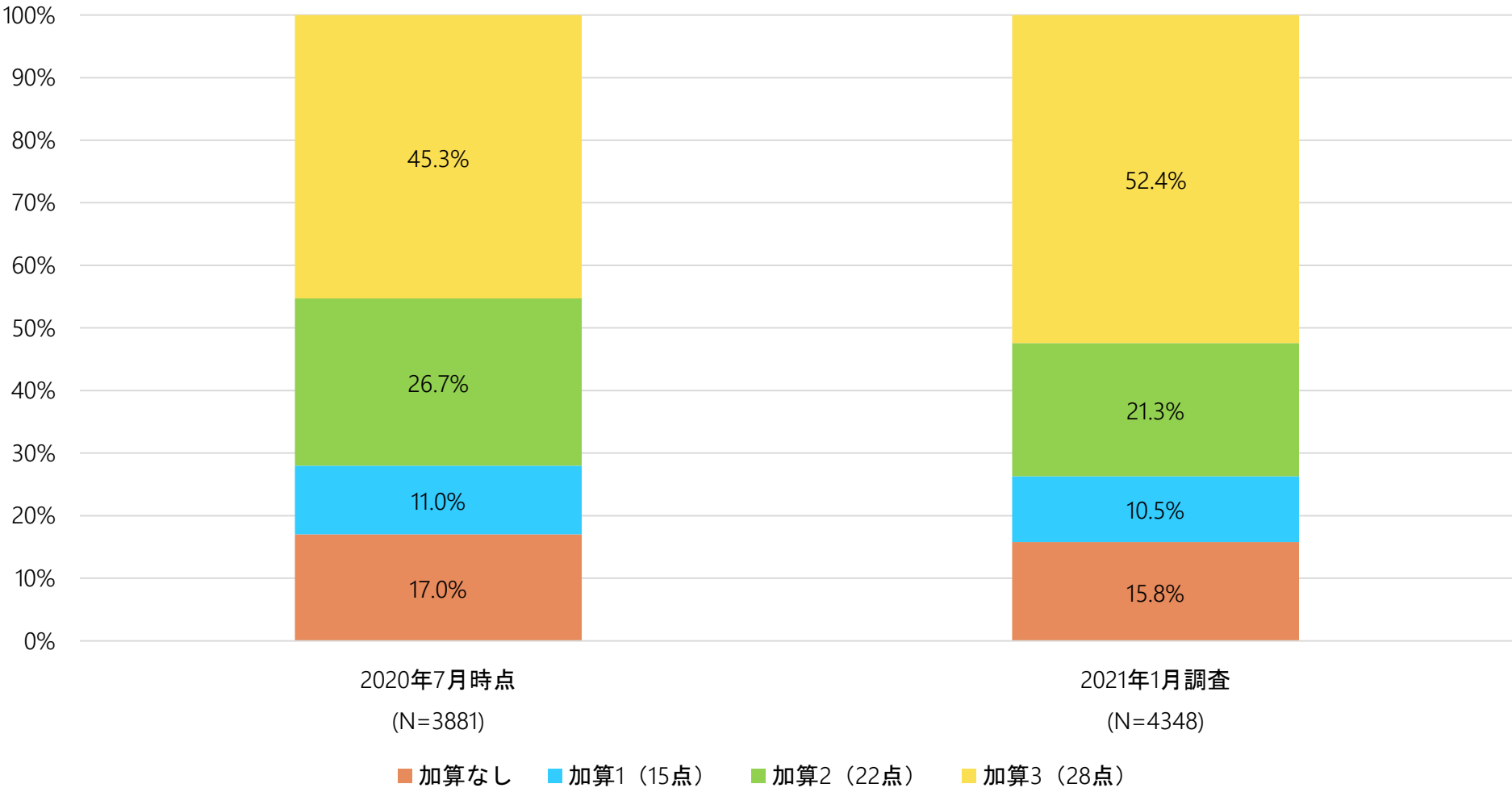


調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-7. 貴薬局の後発医薬品調剤体制加算の区分の状況についてお教えてください。(2020年12月時点) (N=4348)

○加算1(15点)...455件 ○加算2(22点)...928件 ○加算3(28点)...2278件 ○加算なし...687件



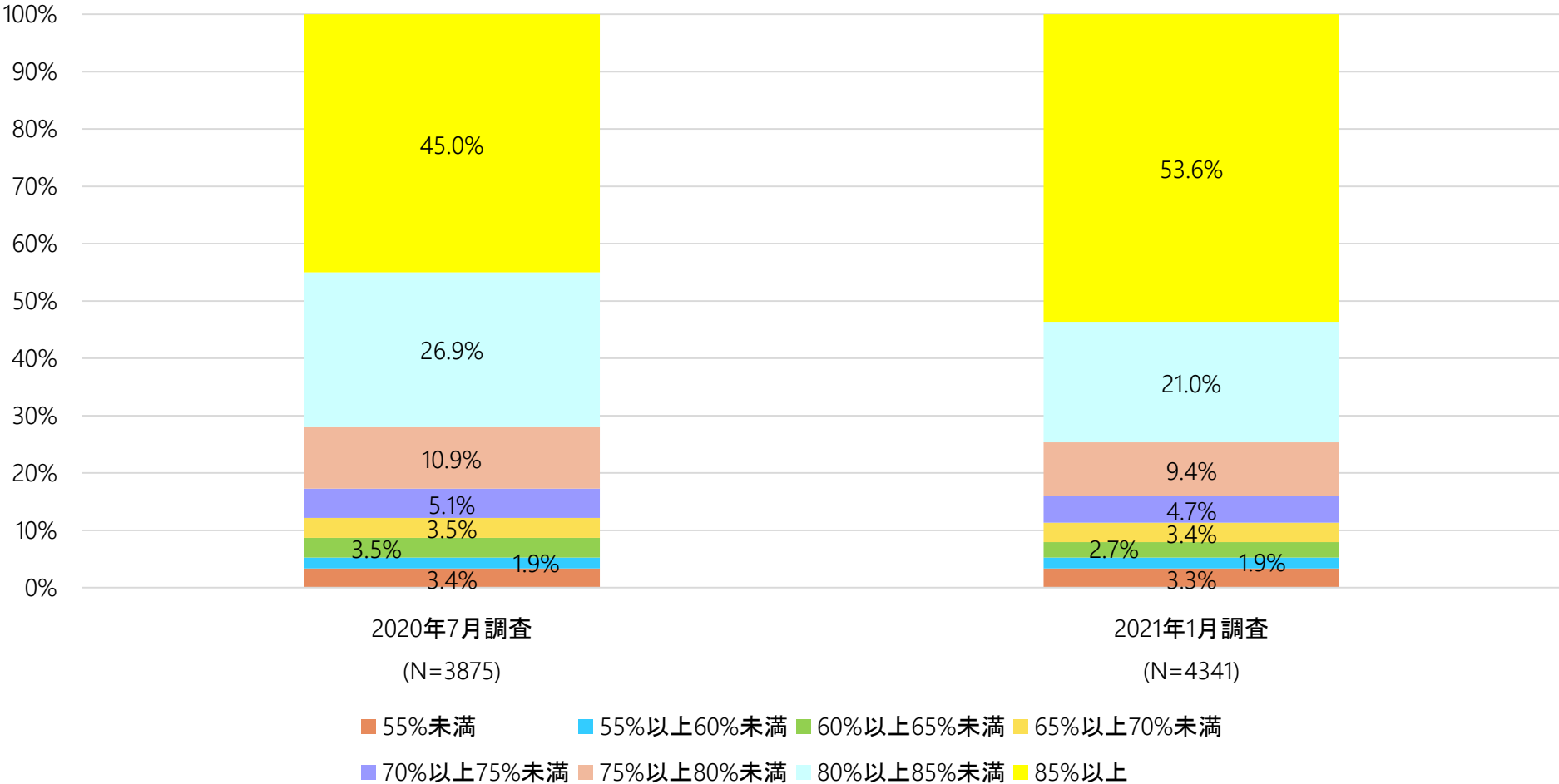
調査結果 薬局概要

Q1. 貴店の基本情報についてお伺いします

Q1-8. 貴薬局の2020年12月における後発医薬品の調剤割合(数量ベース)をお教えてください。調剤割合 % (N=4341)

○55%未満...145件 ○55%以上60%未満...83件 ○60%以上65%未満...118件 ○65%以上70%未満...146件

○70%以上75%未満...203件 ○75%以上80%未満...406件 ○80%以上85%未満...912件 ○85%以上... 2 328件



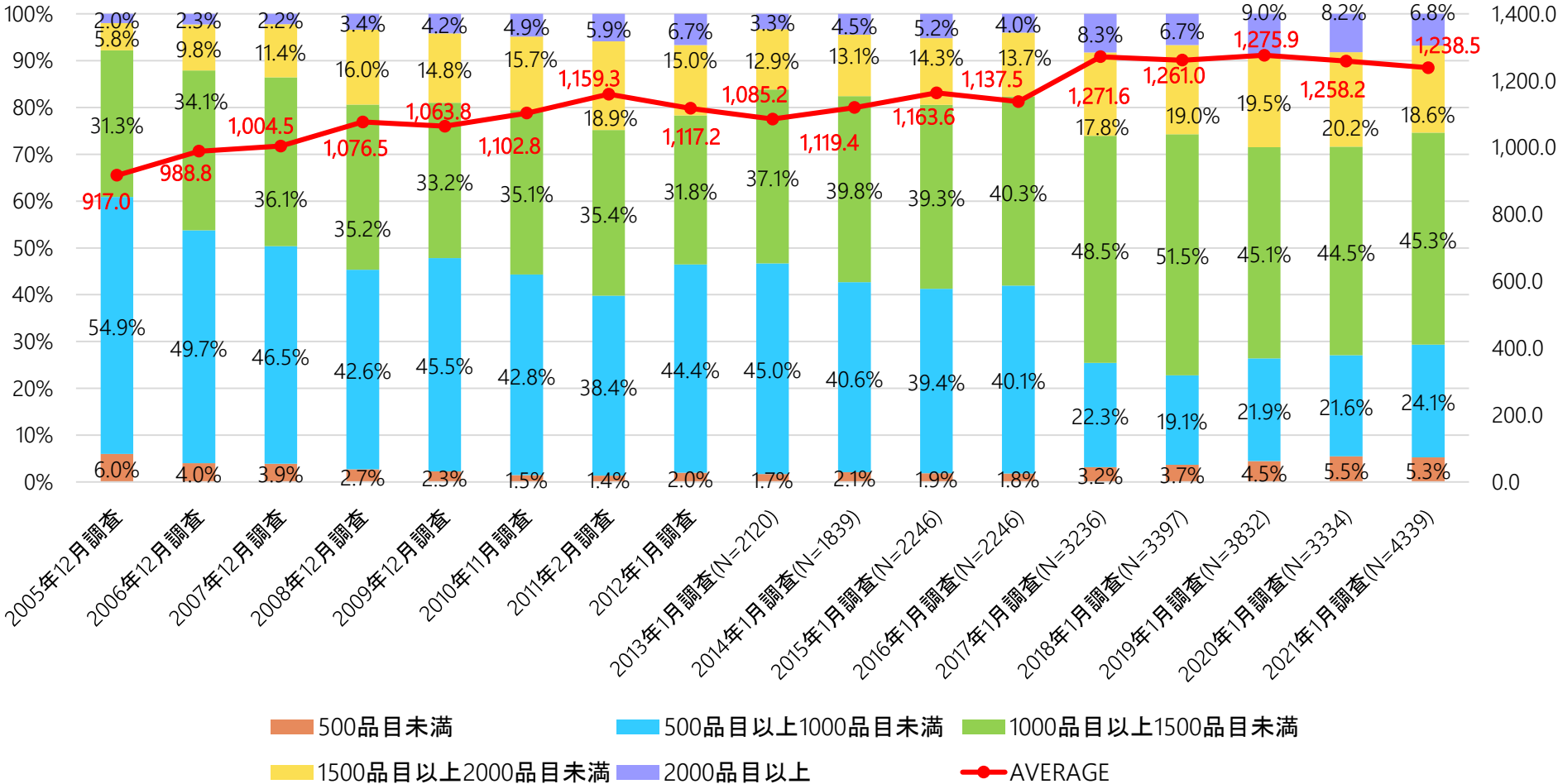
調査結果 医薬品の在庫状況

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-1. 現在在庫している全医療用医薬品の総品目数についてお教えてください。(2020年12月時点) (N=4339)

○500品目未満...228件 ○500品目以上1000品目未満...1047件 ○1000品目以上1500品目未満...1965件

○1500品目以上2000品目未満...806件 ○2000品目以上...293件 ○AVERAGE...1,238.5品目



調査結果 在庫管理システムの導入状況

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

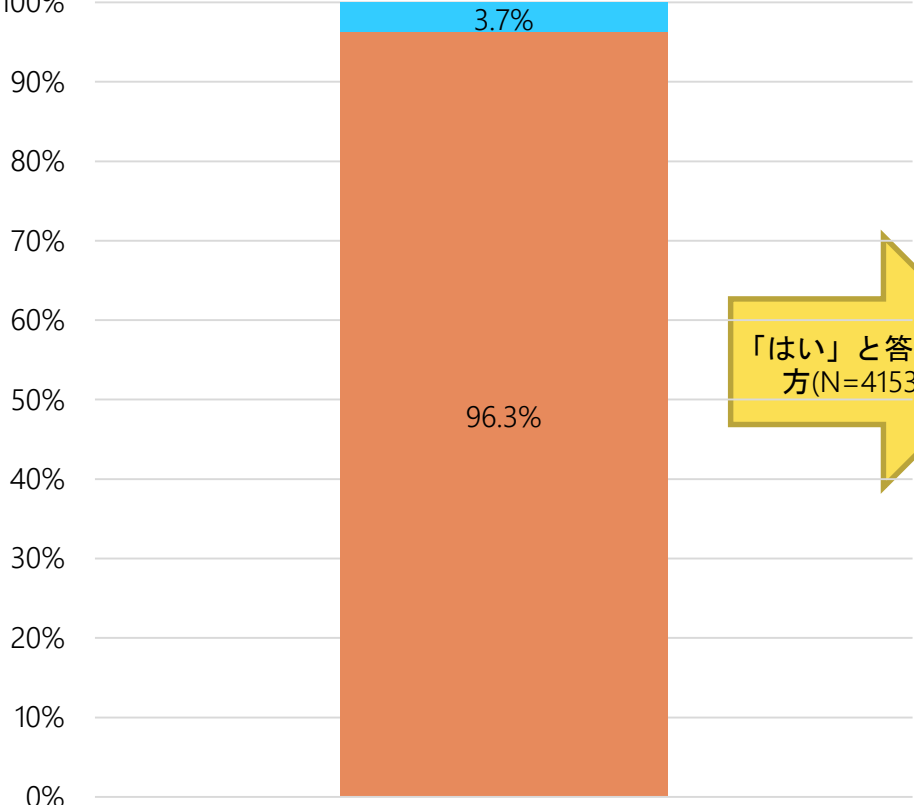
Q2-2. 貴店では在庫管理システムを導入していますでしょうか。(N=4348)

○はい...4185件 ○いいえ...163件

上記で「はい」と答えた方にお聞きします。その在庫管理システムの発注を補助する機能(自動発注、発注勧告など)を使用していますでしょうか。

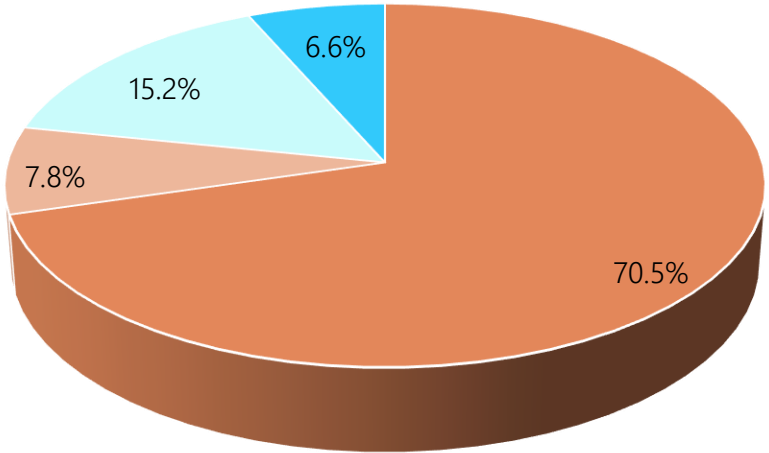
(N=4153)

○使っている...2926件 ○たまに使っている...322件 ○あるが使っていない...631件 ○ない...274件



2021年1月調査(N=4348)

「はい」と答えた方(N=4153)



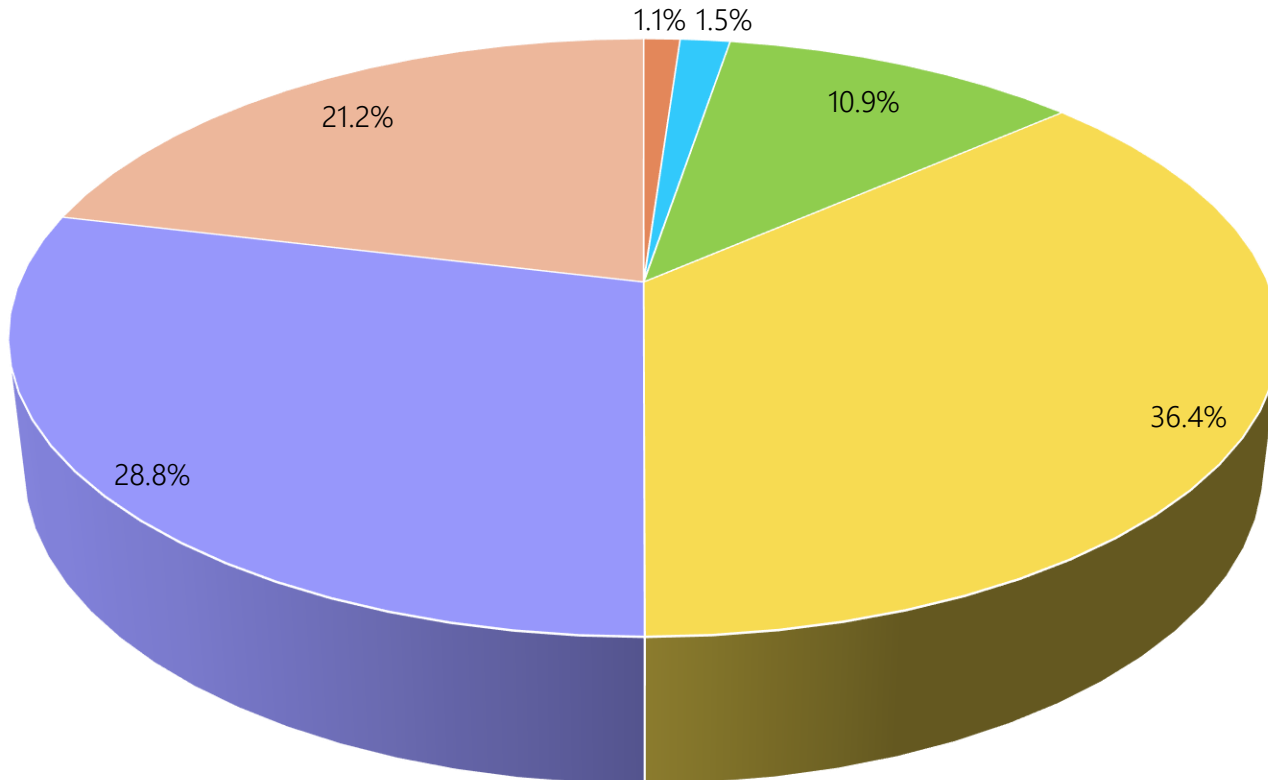
■ 使っている ■ たまに使っている ■ あるが使っていない ■ ない

調査結果 取引卸数

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-3. 貴店が現在取引している卸の数について教えてください。(N=4348)

○1社...48件 ○2社...66件 ○3社...475件 ○4社...1584件 ○5社...1252件 ○それ以上...923件



■ 1社 ■ 2社 ■ 3社 ■ 4社 ■ 5社 ■ それ以上

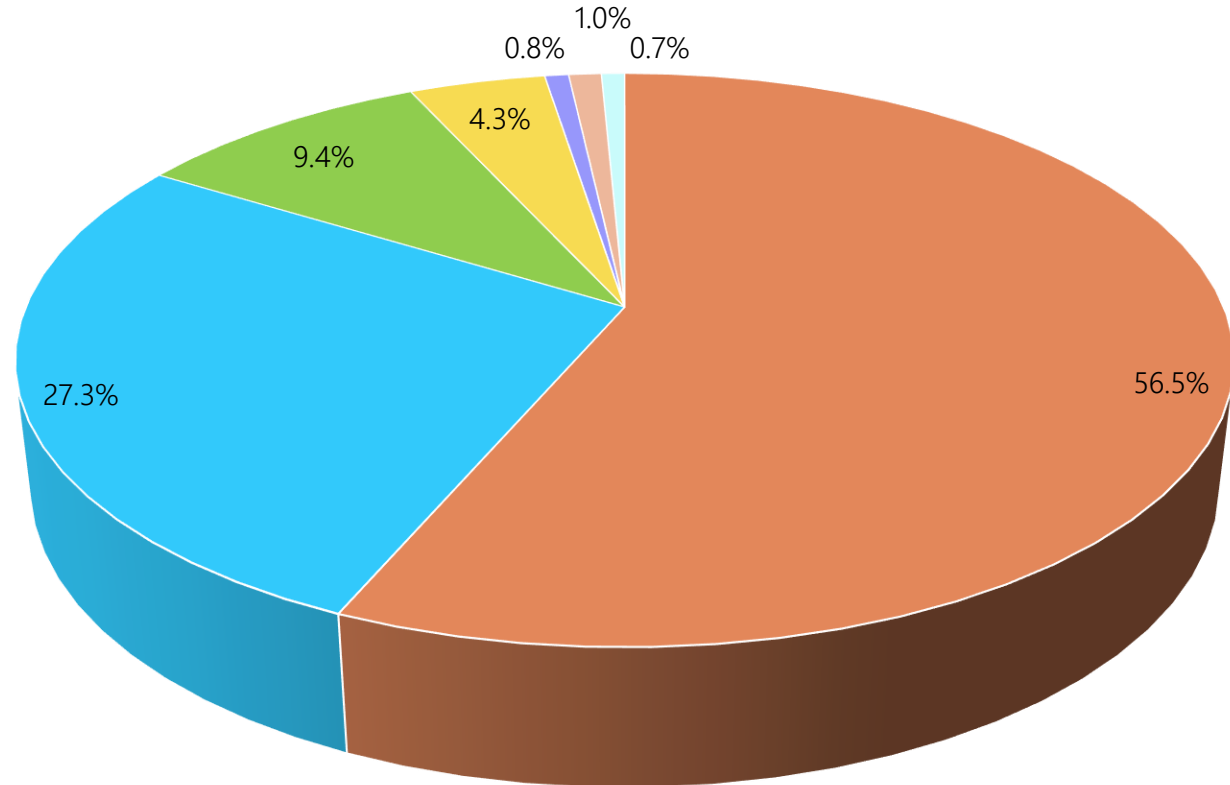
調査結果 1日あたりの急配回数

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-4. 貴店の1日あたりのだいたいの急配回数(回/日)を教えてください。(N=4348)

以下「急配」とは通常の配送によらず、緊急の依頼によって発生する配送と致します。

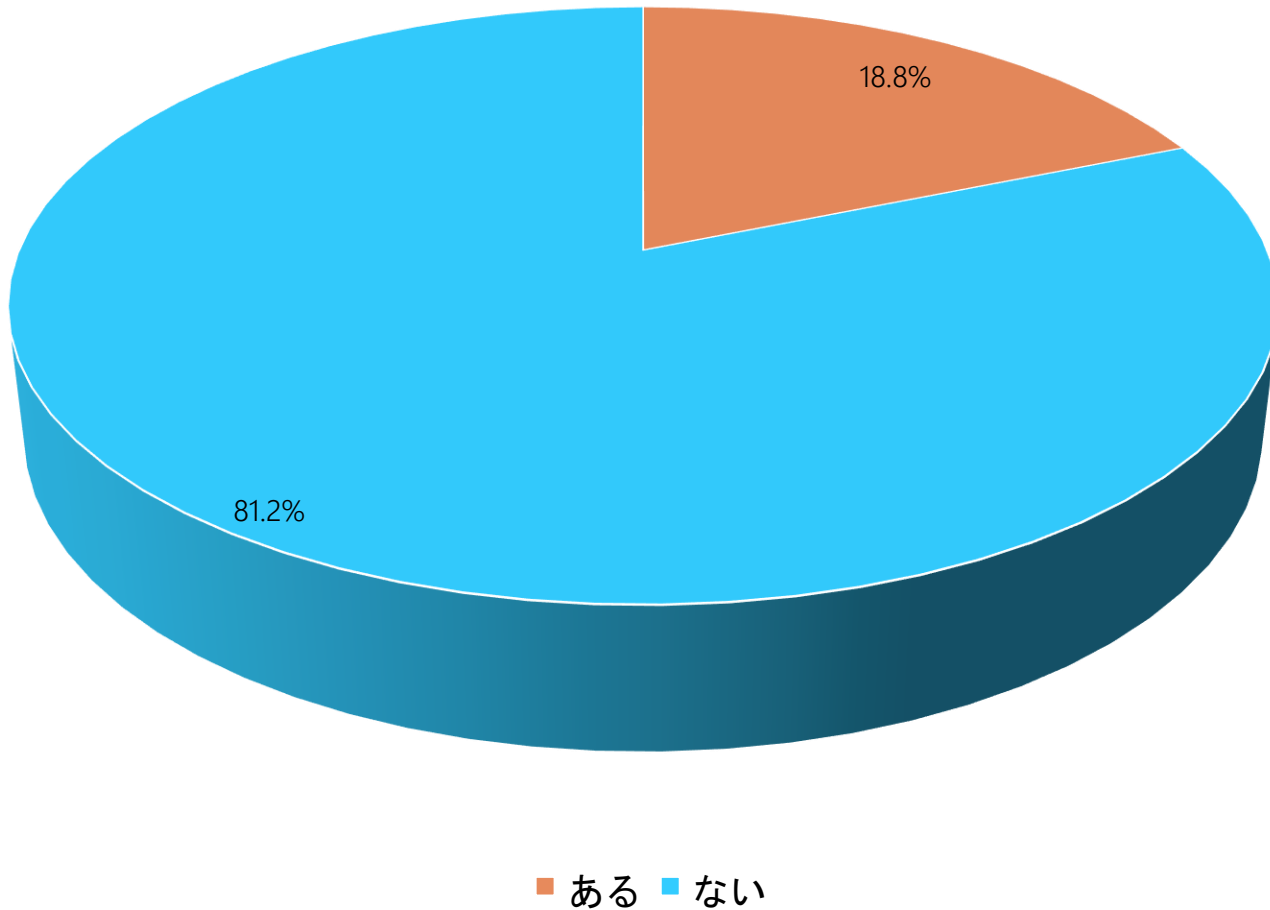
○ほとんどない...2456件 ○1回...1185件 ○2回...409件 ○3回...188件 ○4回...33件 ○5回...45件 ○それ以上...32件



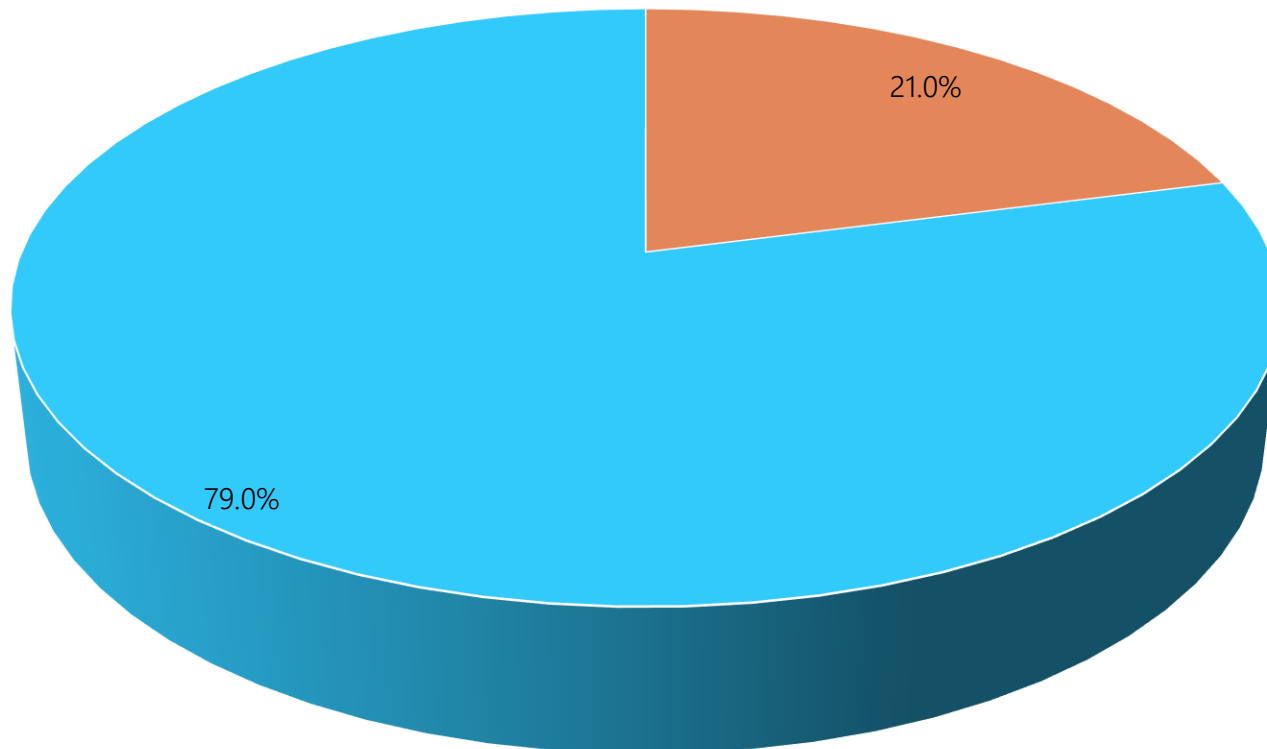
■ ほとんどない ■ 1回 ■ 2回 ■ 3回 ■ 4回 ■ 5回 ■ それ以上

調査結果 コロナの影響による急配依頼回数

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。
Q2-5. 現在コロナの影響による急配依頼回数の増加はありますか。(N=4348)
○ある...818件 ○ない...3530件



Q2. 医薬品流通についてお伺いします。
Q2-6. 貴店で急配を依頼した医薬品は既採用品と非採用品のどちらが多いでしょうか。3か月間使用がないものは非採用品とします。(N=4348)
○既採用品...911件 ○非採用品...3437件



■ 既採用品 ■ 非採用品

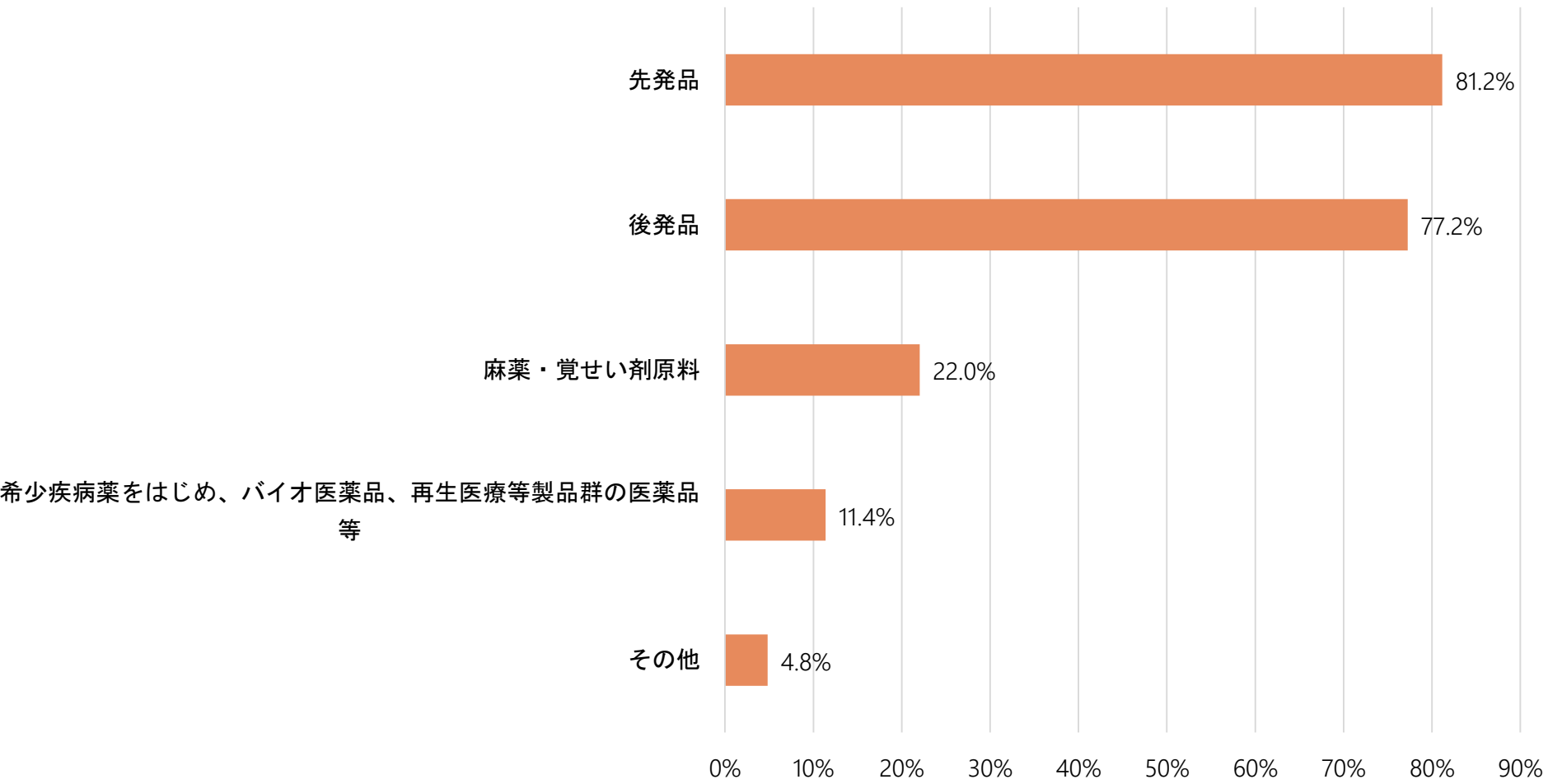
調査結果 急配依頼医薬品

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-7. 貴店で急配を依頼した医薬品について教えてください。<複数回答可>(N=4328)

○先発品...3513件 ○後発品...3343件 ○麻薬・覚せい剤原料...953件

○希少疾病薬をはじめ、バイオ医薬品、再生医療等製品群の医薬品 等...493件 ○その他...208件



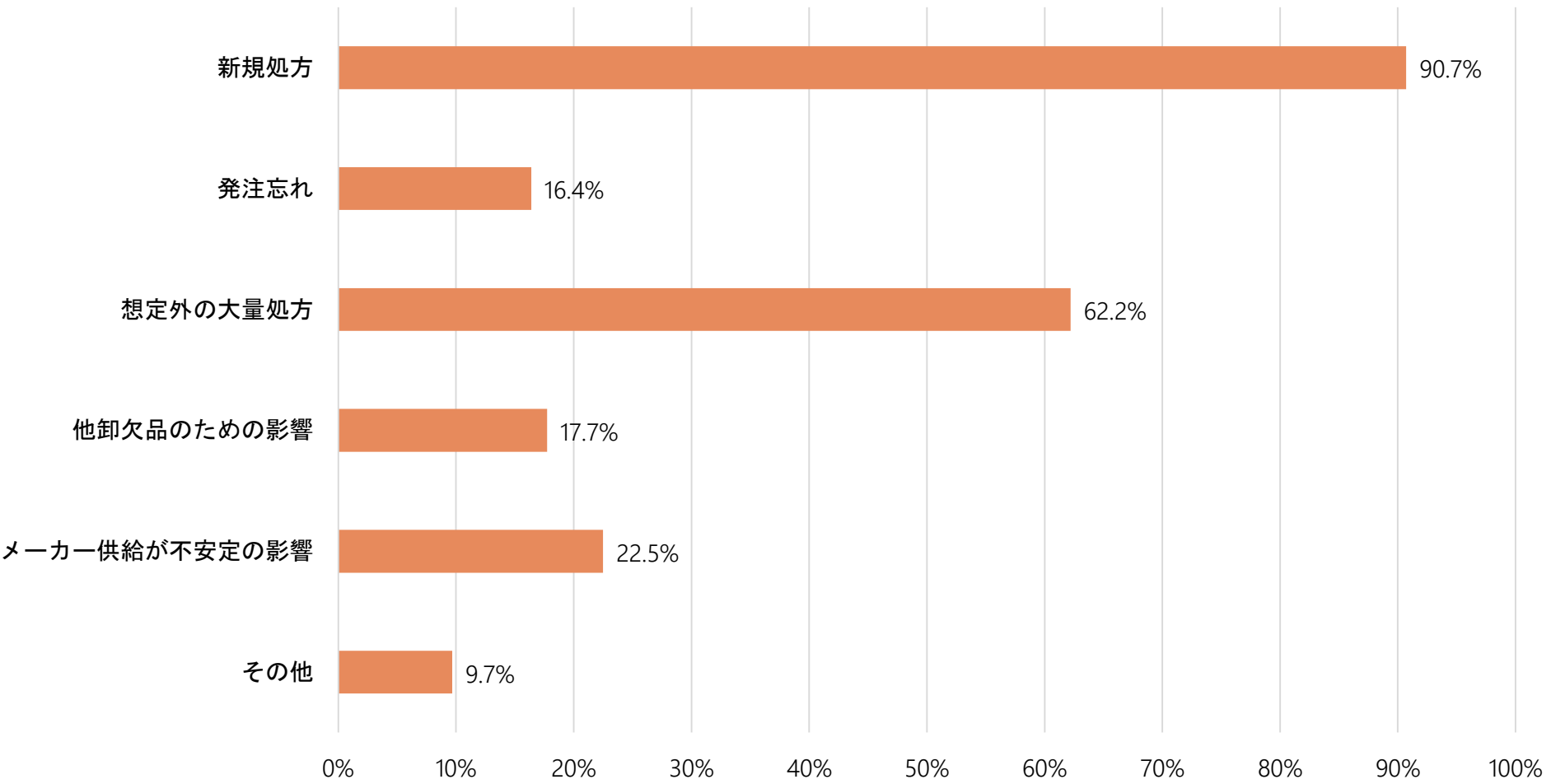
調査結果 急配依頼の理由

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-8. 貴店が急配を依頼した理由を教えてください。 <複数回答可> (N=4330)

○新規処方...3928件 ○発注忘れ...710件 ○想定外の大量処方...2693件 ○他卸欠品のための影響...768件

○メーカー供給が不安定の影響...974件 ○その他...419件



調査結果 急配を無くすために心がけていること

Q2. 医薬品流通についてお伺いします。

Q2-9. 貴店が急配を無くすために心がけていることがありましたら教えてください。（フリーコメント）

- ・患者の来局予定をカレンダーに記載
- ・新薬などに関しては病院薬局と情報交換を密に行っている
- ・PTP包装とバラ包装を別々に管理している
- ・よく出る処方に関しては、月に祝日がある際は、祝日を考慮した発注にする
- ・新規処方の場合は、継続かどうかを聴取し、次回来局予定日を聞くなどして欠品を防ぐ
- ・次回の来局日を予測して、薬の発注をしています。
- ・出る可能性のあるものを少数在庫しておく
- ・通常よく出る処方薬は、多めに備蓄している。
- ・極端に在庫を絞ることを避ける
- ・抗生剤などその日に服用が必要となるものは、少量在庫しておく。
- ・新規薬が処方となった場合は発注点をつける
- ・回転してる薬に関しては日数延長も考慮した在庫数確保
- ・随時発注点の見直しをかけている。
- ・自動発注数のこまめな見直し
- ・想定外の大量処方時の数を確認、次回受診日を確認し、その日までに在庫を準備できるようにしている。
- ・予測管理機能を使用し、それに対応できない薬剤については個別に管理してなるべく欠品の起こらないように配慮しております。
- ・必要数量をあらかじめ予測し、不測の恐れがあれば前日に発注をかける。
- ・他薬局からの継続の場合に患者の残薬確認後、了承を得て後日郵送等の対応をしている。
- ・患者に次回の来局日を聴き、その日までに欠品しやすい薬をあらかじめ用意しておく。
- ・数日間のうちに出る薬品数量を予測し、在庫数と比べて多く処方がでそうなものは、発注点を切っていないくても注文するようにしている。
- ・対象患者が少ない薬品は、患者さんに次回の受診予約日を確認している。
- ・予約発注を活用し、来局予定を管理している
- ・大量処方を持っていく患者の管理
- ・定期処方患者については来局予想を立てており、来局月の初めに発注して取り揃えておく。
- ・急配は大部分が新規処方であるため、おおよそそのまま採用品としている。
- ・稼働がない場合でも、処方経験があるものとして総在庫金額を圧迫しないよう
- ・少量在庫しておくよう心がけている。"
- ・来局予定患者をしっかり把握し、それに合わせて在庫を置く。
- ・定期的に処方のある薬は不足となることは無いよう在庫管理を心がけています。
- ・新規処方に関しては近隣店舗から小分けする等行っています。
- ・2週間ないし4週間分をお渡しし、残りの分をお届けまたは郵送にて対応。

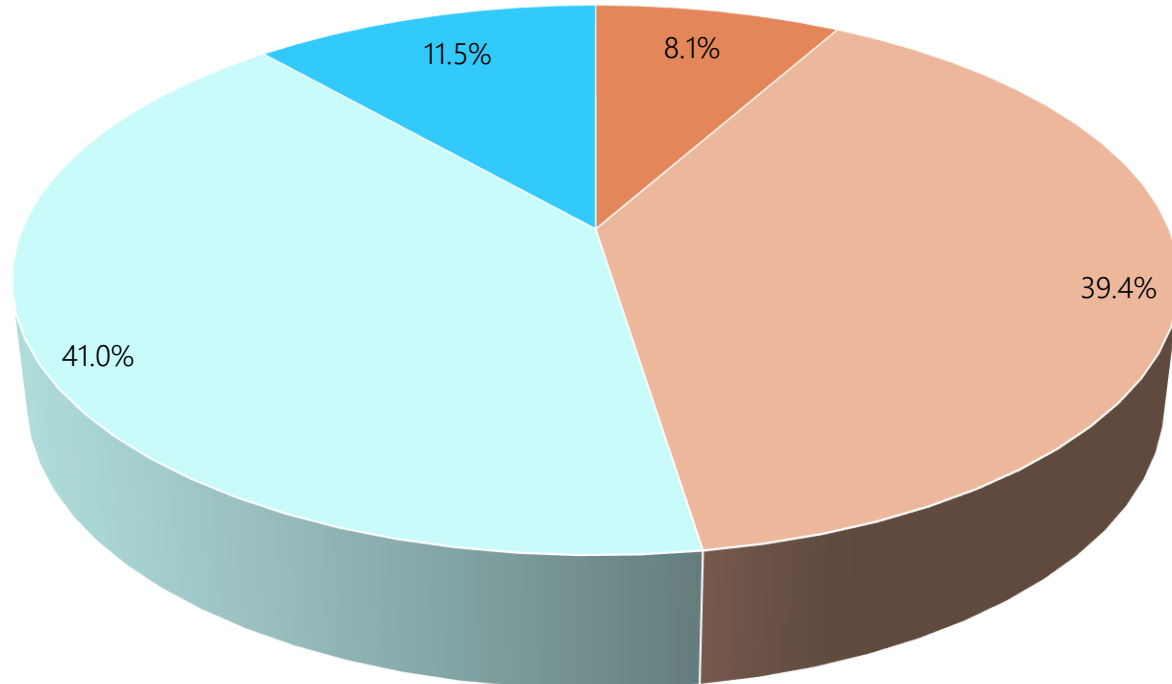
調査結果 同一医療機関における重複投薬の解消

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-1.複数医療機関からの処方で重複投薬が確認された場合、その解消の提案に対する評価として服用薬剤調整支援料²が新設されました。複数医療機関でなく、単一医療機関内で重複投薬を確認することはありますか。(N=4348件)

例)同一病院の他科間で重複投薬を確認

○よくある...354件 ○ある...1714件 ○あまりない...1781件 ○ない...499件



■ よくある
 ■ ある
 ■ あまりない
 ■ ない

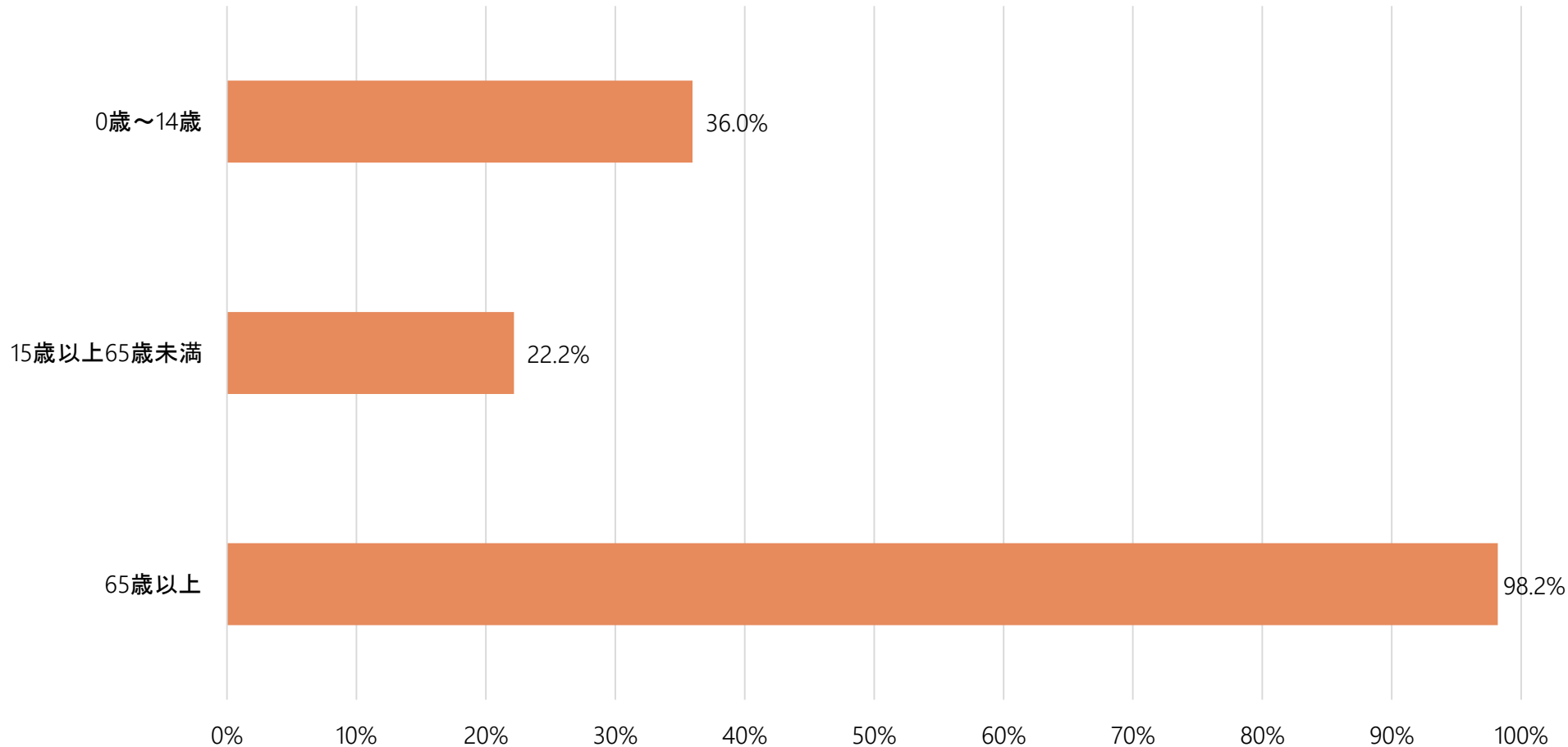
調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-2. かかりつけ薬剤師指導料・かかりつけ薬剤師包括管理料（以下、かかりつけ薬剤師指導料等）についてお聞きします。どのような患者にかかりつけ薬剤師は必要と考えますか。

患者の世代(複数回答可)(N=4299)

○0歳～14歳...1546件 ○15歳以上65歳未満...953件 ○65歳以上...4221件



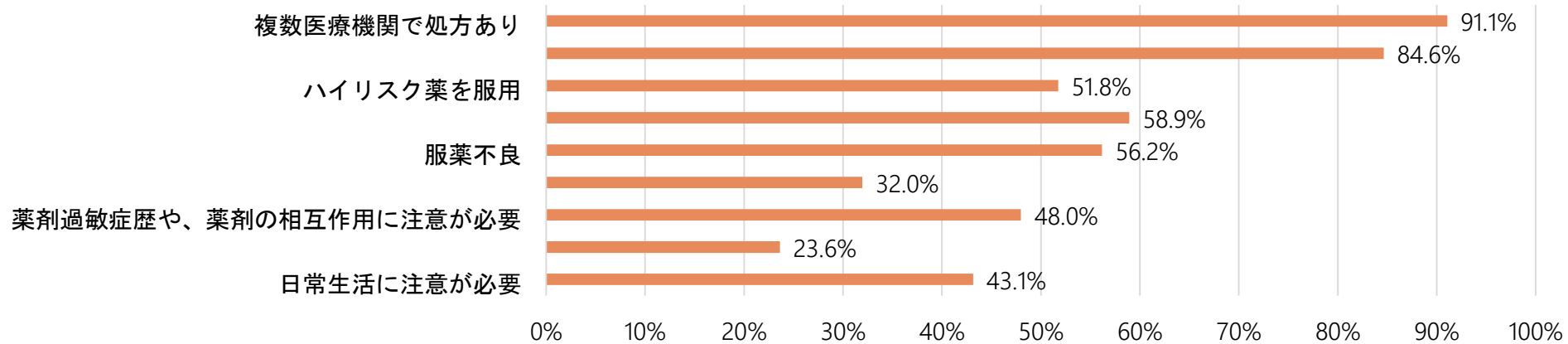
調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-3. かかりつけ薬剤師指導料・かかりつけ薬剤師包括管理料（以下、かかりつけ薬剤師指導料等）についてお聞きします。どのような患者にかかりつけ薬剤師は必要と考えますか。

患者背景(複数回答可)(N=4337)

○複数医療機関で処方あり...3950件 ○多剤服用患者...3671件 ○ハイリスク薬を服用...2245件 ○アドヒアランスが不良...2556件
○服薬不良...2436件 ○治療経過が不良...1386件 ○薬剤過敏症歴や、薬剤の相互作用に注意が必要...2081件
○長期処方の患者...1025件 ○日常生活に注意が必要...1871件 ○その他...153件



◆その他（フリーコメント）

- ・アレルギーや禁忌疾患がある方
- ・がん、難病患者等コミュニケーションや処方内容が難しい患者
- ・治療や医師に対する不安がある方
- ・がん末期の患者様の御家族のフォロー
- ・ジェネリックへの理解が足りない患者
- ・よく時間外連絡先に電話をかけてくる患者様
- ・ご高齢で一人暮らし、また夫婦二人暮らしで他に薬の管理を補助してくれる同居家族がいない患者さん
- ・手技を要する医薬品
- ・家族の支援が必要な方で家族に病気の理解が少なく不安を抱えている方
- ・外国人で英語投薬が必要な方
- ・近隣にお住まいの方
- ・管理、関与できる親族・社会保障サービスなどが無い
- ・緊急時の問い合わせが必要な患者
- ・在宅一歩手前ぐらいの患者
- ・子供や小児などかかりつけになると年齢時代ごとに経過を追い服薬指導や管理が可能になる
- ・市販薬・健康食品類への興味が強い
- ・疾患として薬剤管理が重要
- ・小児については先天性疾患などで長期投与が必須なケースのみ
- ・身近に相談できる医療従事者がいない
- ・症状に合わせて薬を調節する可能性のある患者
- ・腎・肝機能障害でクリアランスが低下し、処方内容に変更が生じた際に注意が必要な患者
- ・精神疾患など不安、依存の高い方など
- ・当薬局のみを利用
- ・透析患者など薬剤の減量調整が必要な患者様
- ・特定な公費をお持ちの方
- ・乳幼児、小児はコンプライアンスの問題や夜間の急変などで不安要素が多い為
- ・認知症など特定の疾患、介護に準ずる行為が必要な方
- ・麻薬服用患者
- ・薬に関して心配事、不安なことが多い患者
- ・来局回数が多い患者
- ・老々介護を行っている患者様、独居の高齢患者様
- ・思春期世代の患者がlep製剤を服用するケースでは家族から相談を受けることが多いため、かかりつけ薬剤師制度を紹介している

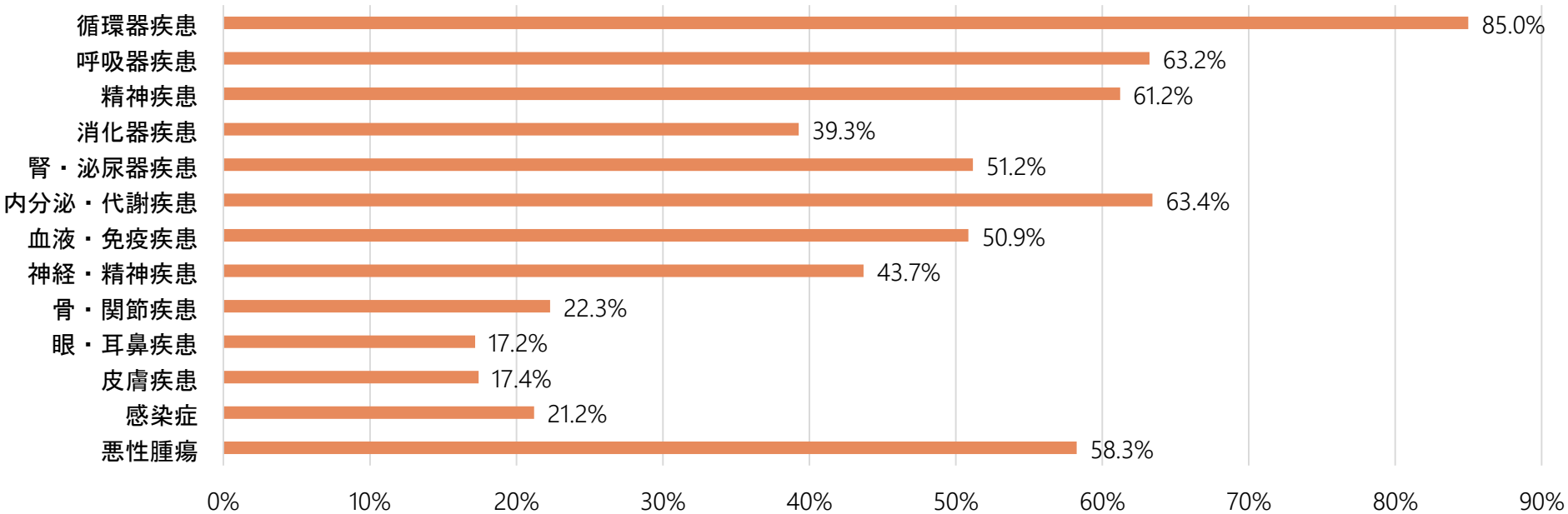
調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-4. かかりつけ薬剤師指導料・かかりつけ薬剤師包括管理料（以下、かかりつけ薬剤師指導料等）についてお聞きします。どのような患者にかかりつけ薬剤師は必要と考えますか。

患者の疾患(複数回答可)(N=4290)

○循環器疾患...3646件 ○呼吸器疾患...2712件 ○精神疾患...2626件 ○消化器疾患...1685件 ○腎・泌尿器疾患...2195件
○内分泌・代謝疾患...2721件 ○血液・免疫疾患...2182件 ○神経・精神疾患...1875件 ○骨・関節疾患...957件 ○眼・耳鼻疾患...737件
○皮膚疾患...747件 ○感染症...910件 ○悪性腫瘍...2499件 ○その他...114件



◆その他（フリーコメント）

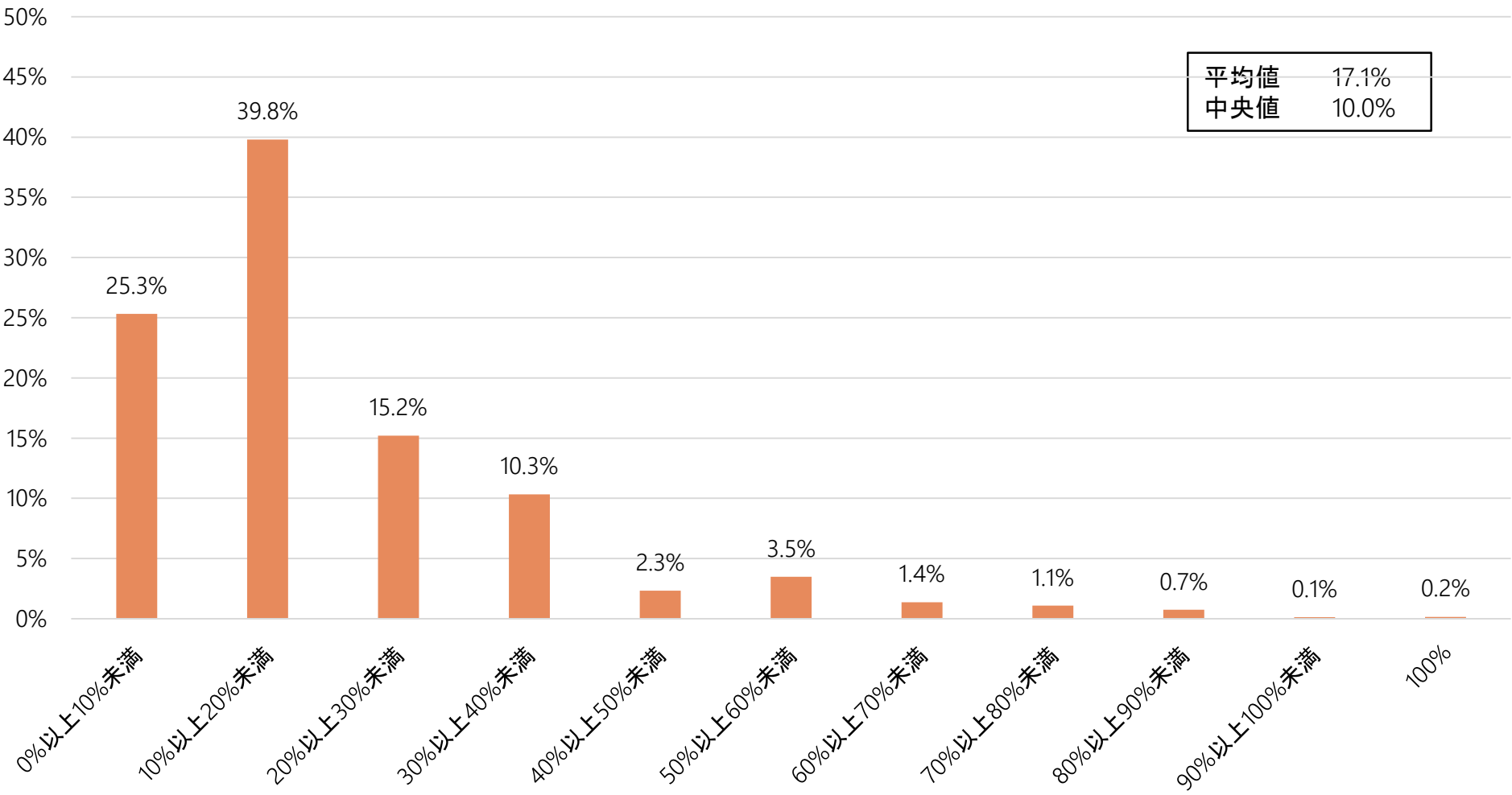
- ・疾患に関係なくかかりつけ薬剤師は必要
- ・科ではなく多科受診で高齢の方
- ・患者背景によりすべて
- ・疾患に関わらず必要と判断したら
- ・疾患ではないが、妊婦、授乳婦、小児科
- ・歯科
- ・疾患で判断というよりは、患者様個別の理解度や必要性を考慮
- ・疾患に関わらず、健康に関する知識や薬の管理が個人で難しい方に必要と考えます
- ・将来、在宅医療が必要になりそうな患者
- ・透析
- ・難病指定の疾患
- ・疾患よりも患者様個人の状態による為、疾患で判別することはなし
- ・慢性病は無いが、健康食品に関心のある方
- ・日本ではカウンセラーという地位が確立されていないため、メンタル面が弱くても治療していない方、精神疾患と気づいていない方も含む

調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-5. 来局患者のうち、上記のようにかかりつけ薬剤師が必要と考える患者はどれくらいいますか。(N=4294)

※ご自身の感覚で構いません。0~100%の範囲で5%単位でお答えください。例：15%

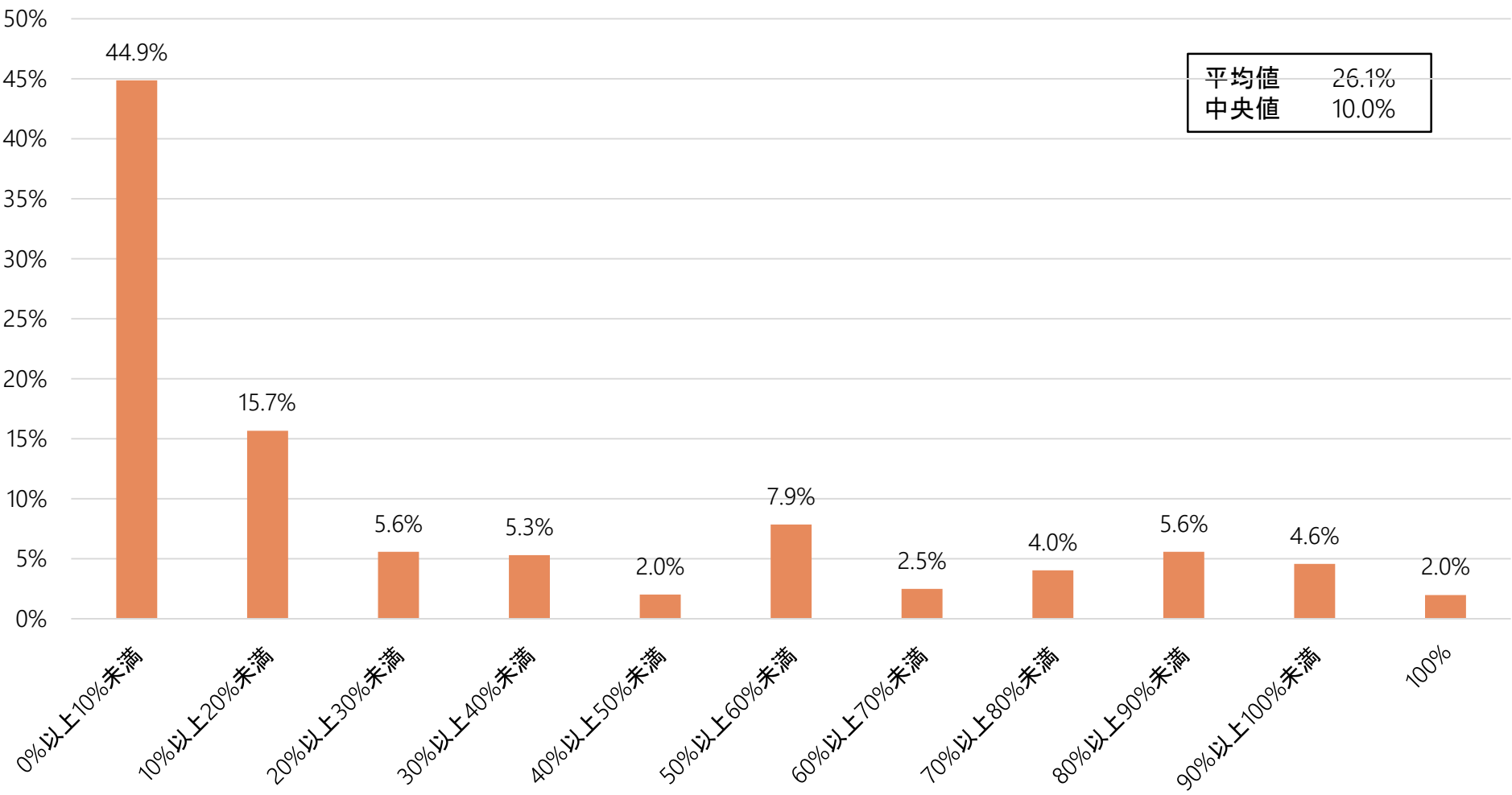


調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-6.上記のうち、かかりつけ薬剤師指導料等を算定している割合について教えてください。(N=3077)

※ご自身の感覚で構いません。0~100%の範囲で5%単位でお答えください。



調査結果 かかりつけ薬剤師

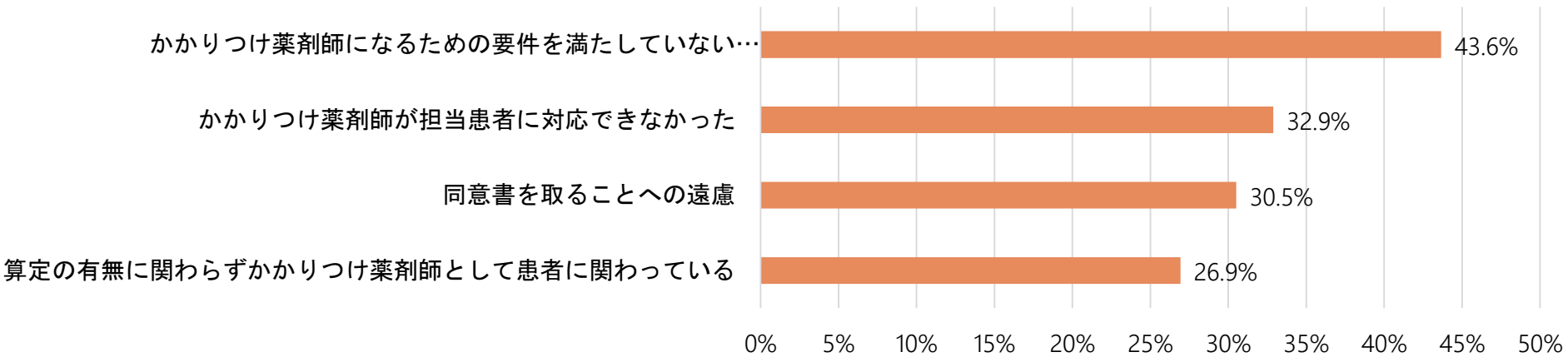
Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-7. かかりつけ薬剤師指導料等を算定できない理由についてお教えてください。(複数回答可)(N=4296)

○かかりつけ薬剤師になるための要件を満たしていない(3年経験、1年在籍など) ...1875件

○かかりつけ薬剤師が担当患者に対応できなかった...1413件 ○同意書を取ることへの遠慮...1311件

○算定の有無に関わらずかかりつけ薬剤師として患者に関わっている...1157件 ○その他...357件



◆その他(フリーコメント)

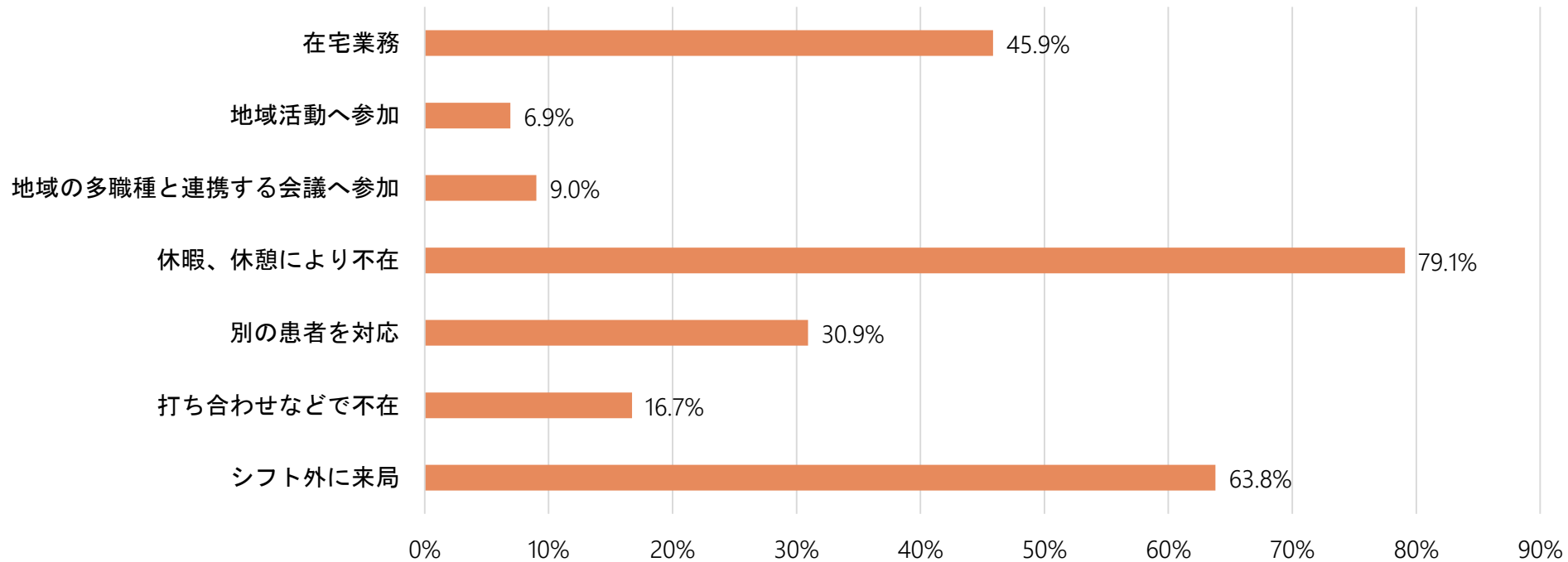
- ・勤務がシフト制のため、担当となる薬剤師がいない時間帯がある
- ・患者の質問が多く、かかりつけ同意による長時間拘束を懸念
- ・100%同じ薬剤師が対応するのは少し難しい
- ・かかりつけは算定せずとも薬剤師の当たり前の行為と考えている
- ・かかりつけ薬局として薬局全体でフォローしていることが多くかかりつけ薬剤師の意義があまり感じられない
- ・かかりつけ薬剤師としての責務を果たす時間的余裕がない
- ・異動があるため要件を満たすのが厳しい
- ・患者層が若い方が多く、また医療機関の受診機関も短い為
- ・店舗の薬剤師が1人のため
- ・在宅、地域ケア会議等外部での業務中では対応できない
- ・色々な薬剤師が関わった方がよい場合も多い為
- ・プライバシーの観点で勤務表の提示をしたくない
- ・多忙によりこれ以上対応人数を増やしきれない
- ・本人以外が来局し患者状況が不明な時
- ・精神的負担が大きい為
- ・コロナで地域活動ができない
- ・コロナ対策として店外対応を行っているため対応が困難
- ・プライバシー配慮のスペースがとれない
- ・提案したが金額負担などの理由で断られている
- ・勤務表提出など点数に対して薬局側の負担が多い
- ・薬剤師個人への業務負担が大きすぎる
- ・在宅患者であり緊急で他の薬剤師が対応する必要があるため
- ・薬剤師側の問題(業務量に対する報酬の低さにモチベーションが下がっている可能性あり)
- ・人数が増えることによる待ち時間増加、一人一人の対応の低下

調査結果 かかりつけ薬剤師

Q3. 薬剤師業務についてお伺いします。

Q3-8. 「かかりつけ薬剤師が担当患者に対応できなかった」を選択した方にお聞きします。かかりつけ薬剤師が担当する患者に対応できなかった理由についてお教えてください。(複数回答可)(N=1387)

○在宅業務...636件 ○地域活動へ参加...96件 ○地域の多職種と連携する会議へ参加...125件 ○休暇、休憩により不在...1097件
○別の患者を対応...429件 ○打ち合わせなどで不在...232件 ○シフト外に来局...885件 ○その他...9件



◆その他（フリーコメント）

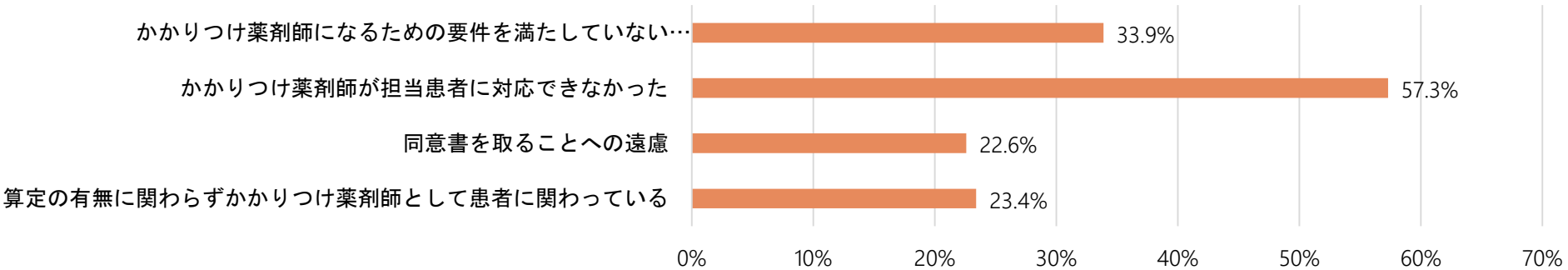
- ・9-21時営業であり、365日開局している為出勤時間、出勤日の統一が難しい また患者様の来局状態も一定でなく、不安定のため
- ・かかりつけ薬剤師は1名だけで、公休日や在宅業務、地域ケア会議等その他諸々の「地域支援体制加算」算定要件の業務も全てこなしている為
- ・シフトがランダムなので患者様にあわせられない ・特養での与薬管理 ・無菌調剤中 ・施設訪問 ・有給休暇や休日出勤の振り替え休日
- ・欠品患者さまへのお届け対応 ・若手薬剤師の勉強の為 ・重い調剤、鑑査中で手が離せない ・研修などで不在
- ・長期処方のためシフトの配布が困難 ・同時に複数人の来局があった時、待たせる時間が発生するので中には対応できない方もいらっしゃる

調査結果 かかりつけ薬剤師

◆Q3-6で算定割合が80%以上と回答した方

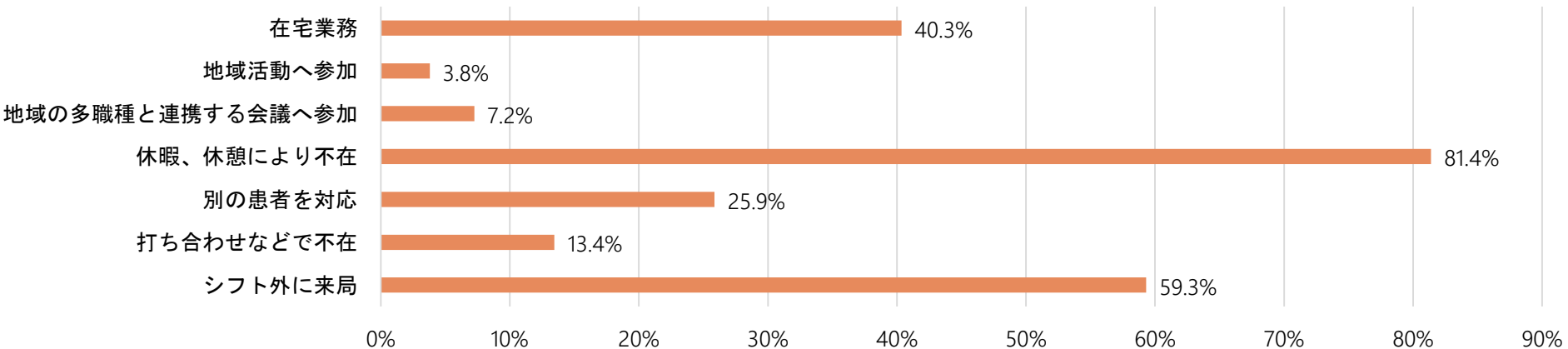
Q3-7.かかりつけ薬剤師指導料等を算定できない理由についてお教えてください。(複数回答可)(N=363)

- かかりつけ薬剤師になるための要件を満たしていない(3年経験、1年在籍など)...123件
- かかりつけ薬剤師が担当患者に対応できなかった...208件
- 同意書を取ることへの遠慮...82件
- 算定の有無に関わらずかかりつけ薬剤師として患者に関わっている...85件



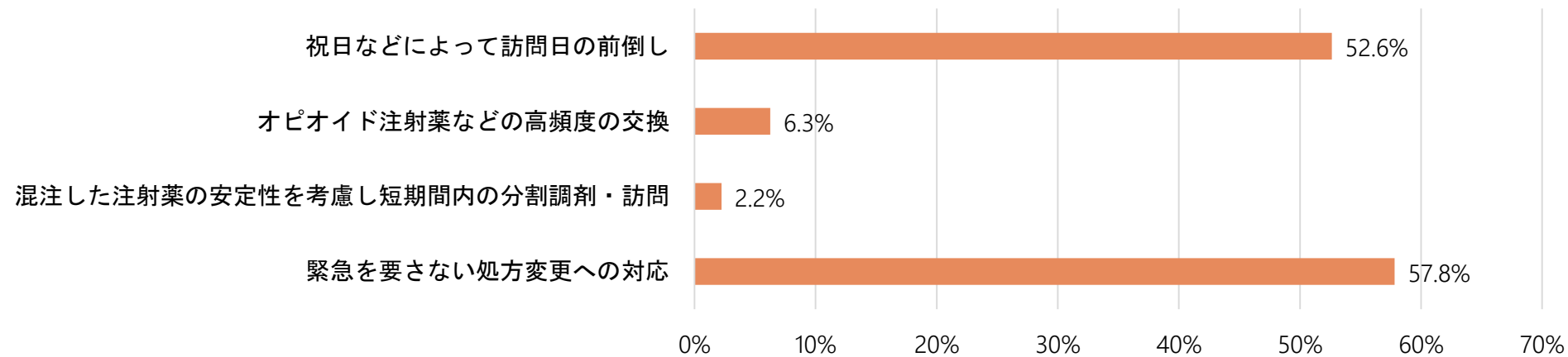
Q3-8.「かかりつけ薬剤師が担当患者に対応できなかった」を選択した方にお聞きします。かかりつけ薬剤師が担当する患者に対応できなかった理由についてお教えてください。(複数回答可)(N=290)

- 在宅業務...117件
- 地域活動へ参加...11件
- 地域の多職種と連携する会議へ参加...21件
- 休暇、休憩により不在...236件
- 別の患者を対応...75件
- 打ち合わせなどで不在...39件
- シフト外に来局...172件



調査結果 算定ができない訪問指導料

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。
Q4-1.在宅患者の処方箋を応需している薬局にお聞きします。
訪問間隔が6日以上空かず、訪問指導料が算定できないケースを選択ください。(複数回答可)(N=2029)
○祝日などによって訪問日の前倒し...1068件 ○オピオイド注射薬などの高頻度の交換...127件
○混注した注射薬の安定性を考慮し短期間内の分割調剤・訪問...45件 ○緊急を要さない処方変更への対応...1173件 ○その他...234件



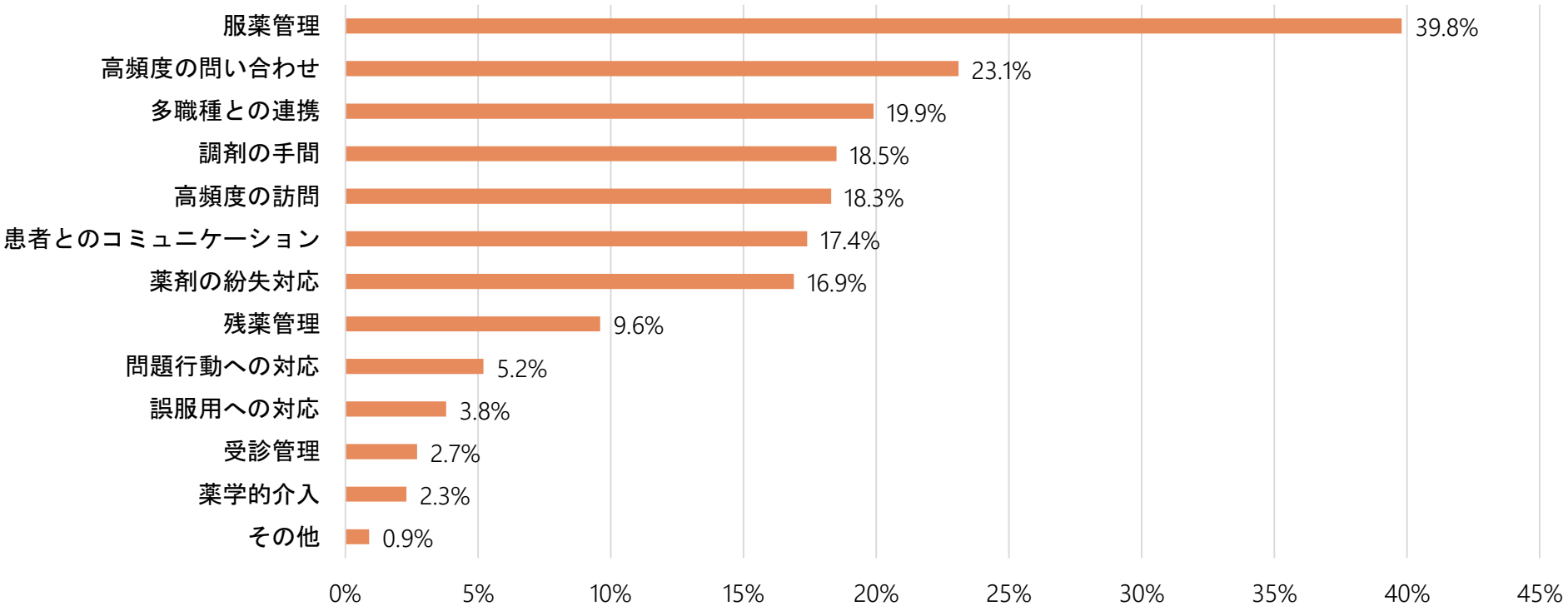
◆その他（フリーコメント）

- ・お年寄りが多いため、すぐに体調を崩すことが多く急配が多い
- ・コンプライアンス不良による週に2回の薬のセットを要望されているため
- ・ご家族の要望で毎金曜日、土曜日の隔日訪問
- ・ショートステイ等の急な予定日変更がある
- ・往診日、受診日変更により日数が空かなかった
- ・悪性腫瘍の患者ではないが医療用麻薬の変更があったので週2回算定出来ない
- ・医師が処方は何回も変更指示し、都度対応が求められる為
- ・医師の不定期訪問
- ・往診外で体調変化が発生
- ・往診予定が1週間未満だった
- ・外用薬や頓服薬等の臨時追加処方
- ・患者の過量服用や紛失による薬剤の不足
- ・患者要因による、受診タイミングのずれ
- ・眼科等計画外の処方せん受付
- ・期間内での追加処方
- ・在宅依頼されている以外の医療機関の処方せんに対応
- ・臨時薬の処方対応のため
- ・他の医療機関受診により医師から居宅療養管理指導の依頼がとれなかった
- ・軟膏や湿布・頓服薬などの追加処方
- ・処方日数とお薬カレンダーのセット日数の関係でどうしても往診日と訪問日にズレが生じた時
- ・睡眠導入剤のみ月初めに別に出るため、定期処方との間隔が空かない
- ・他医療機関の処方せんが6日以上空かずに発行された場合
- ・定期処方薬だが複数の科から処方箋が出ているケース
- ・定時薬だが、残薬がまったくなく、受診日の都合で算定が取れない
- ・複数科を受診しているので受診日の関係で算定できない事がある

調査結果 認知症在宅患者

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。

Q4-2.通常の在宅患者に比べて認知症在宅患者で手間がかかる業務についてお教えてください。



◆その他（フリーコメント）

- ・通常の一包化ではだめで、日付記載やライン引きが必要
- ・薬がわからない、ないと患者さんから電話がかかってくる
- ・配薬カレンダーやボックスによる服薬管理、ヘルパー、看護師とこまめな電話連絡による連携
- ・説明に時間がかかる 何度も同じことを話さないといけない
- ・連絡を取っているにも関わらず、訪問時に不在のため再訪問をしなければならないことがある
- ・受診する日を忘れるので、前日・当日に電話をかける
- ・受診予定確認や薬不足の訴えの電話の頻度が高い
- ・その対応で予定外の訪問が発生する
- ・錠剤を吐き出すことが多く、粉碎対応
- ・患者が攻撃的に接してくる
- ・同じことで電話が頻繁にかかってくる（1日1回程度）
- ・主治医に服用できるように用法や剤型を提案
- ・過量服用し、薬が無くなっていると連絡入り、多種職とのやり取りが多く発生する

調査結果 往診同行

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。

Q4-3.直近3ヵ月で往診同行を行いましたか。(N=3021)

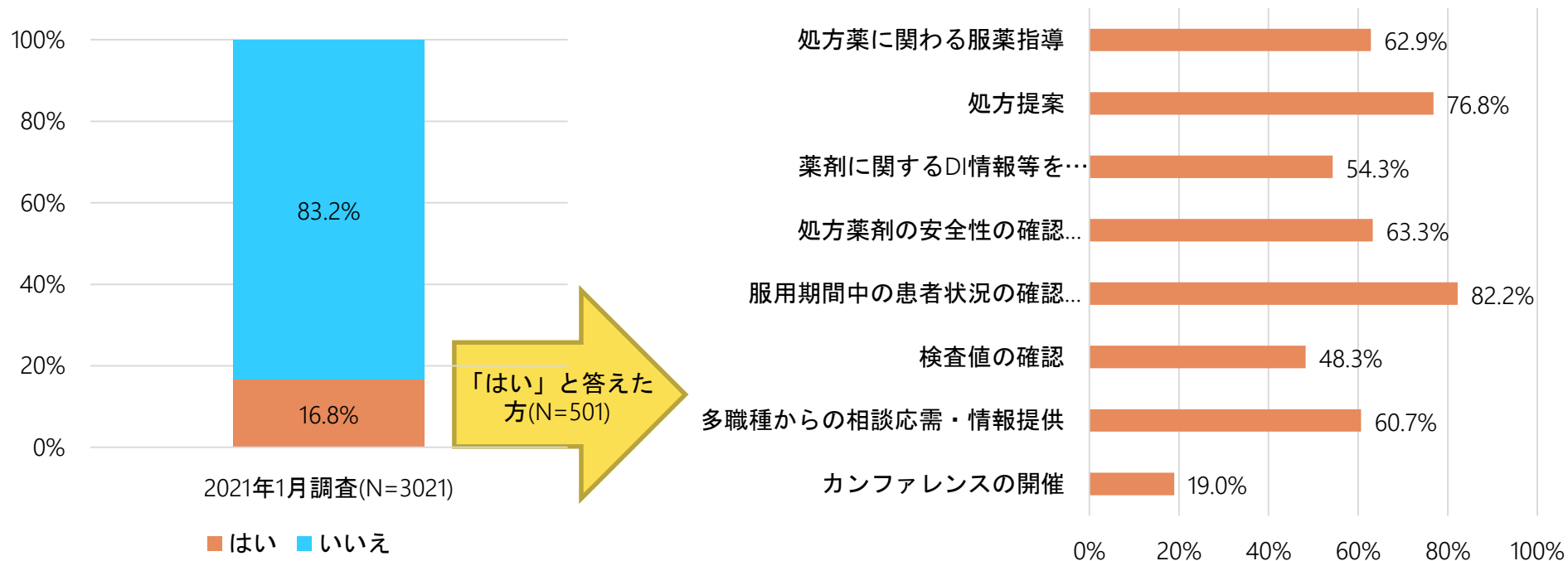
○はい...507件 ○いいえ...2514件

「はい」と回答した方にお聞きます。往診同行に関連して行う業務についてお教えてください。(複数回答可)(N=501)

○処方薬に関わる服薬指導...315件 ○処方提案...385件 ○薬剤に関するDI情報等を主治医へ提供...272件

○処方薬剤の安全性の確認(投与量、相互作用など)...317件 ○服用期間中の患者状況の確認(体調変化、残薬、併用薬など)...412件

○検査値の確認...242件 ○多職種からの相談応需・情報提供...304件 ○カンファレンスの開催...95件 ○その他...12件



◆その他 (フリーコメント)

- ・麻薬皮下注の使用状況やスケジュールの確認
- ・剤形の相談
- ・他病院からの処方日数の調整、処方切れ日のアナウンス、受診予約日の確認
- ・患者の服薬拒否の改善
- ・保険、制度上の相談 (0410対応で実施可能な範囲について等)
- ・検査測定依頼、ポリファーマシー
- ・患者の生活状況に応じた用法や状態に応じた剤型(粉碎化)や減薬の提案、患者や介護者の負担軽減の為服用時点を可能な限り減らす、介護者の

の要望の聞き取りと主治医への提案、残薬に応じた処方量変更依頼

調査結果 小児特殊調剤

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。

Q4-4.小児特殊調剤を応需している薬局にお聞きします。小児特殊調剤とは下記に示す特殊調剤をさします。調剤にかかる負担についてお教えてください。

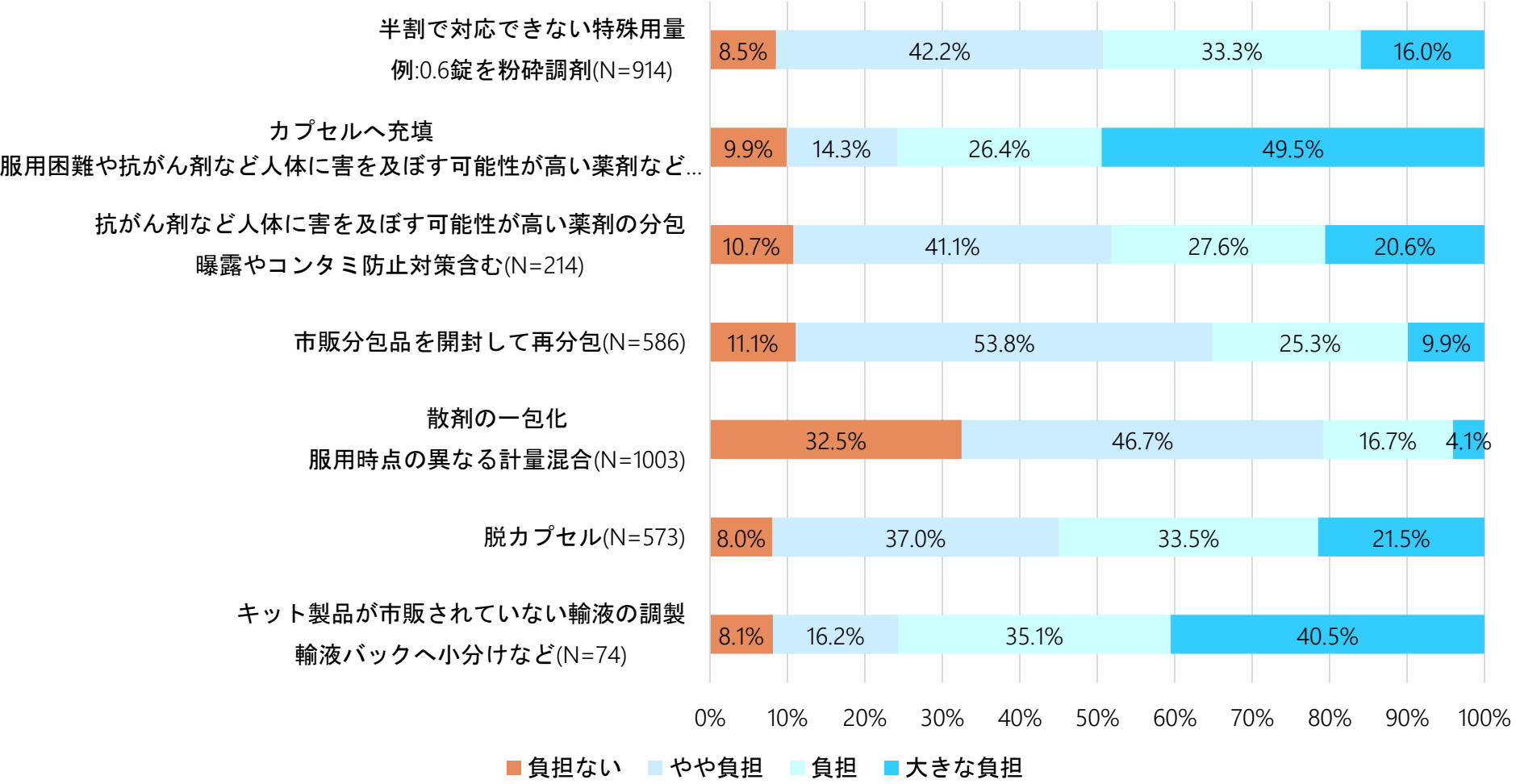
- ◆半割で対応できない特殊用量(N=1711) 例:0.6錠を粉碎調剤
 - 応需がない...797件 ○負担ない...78件 ○やや負担...386件 ○負担...304件 ○大きな負担...146件
- ◆カプセルへ充填(N=1604) 服用困難や抗がん剤など人体に害を及ぼす可能性が高い薬剤など
 - 応需がない...1513件 ○負担ない...9件 ○やや負担...13件 ○負担...24件 ○大きな負担...45件
- ◆抗がん剤など人体に害を及ぼす可能性が高い薬剤の分包(N=1608) 曝露やコンタミ防止対策含む
 - 応需がない...1394件 ○負担ない...23件 ○やや負担...88件 ○負担...59件 ○大きな負担...44件
- ◆市販分包品を開封して再分包(N=1629)
 - 応需がない...1043件 ○負担ない...65件 ○やや負担...315件 ○負担...148件 ○大きな負担...58件
- ◆散剤の一包化(N=1662) 服用時点の異なる計量混合
 - 応需がない...659件 ○負担ない...326件 ○やや負担...468件 ○負担...168件 ○大きな負担...41件
- ◆脱カプセル(N=1623)
 - 応需がない...1050件 ○負担ない...46件 ○やや負担...212件 ○負担...192件 ○大きな負担...123件
- ◆キット製品が市販されていない輸液の調製(N=1588) 輸液バックへ小分けなど
 - 応需がない...1514件 ○負担ない...6件 ○やや負担...12件 ○負担...26件 ○大きな負担...30件

◆その他（フリーコメント）

- ・半割で対応できない特殊用量での調剤の場合、きりのいい錠数になるように調剤を行い、残りの日数分は薬局で保管となる
次回来局時処方変更になった際、残った分は廃棄せざるおえず、高額な薬剤の場合、廃棄金額が負担となる
- ・漢方薬など分包して販売されている散薬の秤量後再分包 ・半錠の規格があるにも関わらず半錠を行う作業
- ・乳幼児への適応外処方における力価計算 用量の適正、妥当性の調査
- ・添付文書に小児用量の記載がない医薬品の処方量鑑査に負担を感じる
- ・用法が特殊（毎食後等ではなく、時間指定等）なことによる調剤の複雑化
- ・散剤は服用量が多く服用できない為、その錠剤を粉碎 ・液体をシリンジで吸い取り、指定の瓶に調剤する
- ・先天性疾患では、ビタミン剤やてんかん薬などの多剤処方があり、単純な分包作業でも鑑査時間を含めると相当な業務負担になる
- ・特殊な薬剤を服用時まで準備することが負担 問屋になく近隣薬局にもないような薬剤が処方されてくる 午後ファックスで夕食までに間に
あわさなければいけなかったりした場合、時間と人がとられる

調査結果 小児特殊調剤

Q4. 以下は該当する薬局のみご回答ください。
 Q4-4. 小児特殊調剤を応需している薬局にお聞きします。小児特殊調剤とは下記に示す特殊調剤をさします。調剤にかかる負担について教えてください。



調査結果 吸入薬指導加算

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。

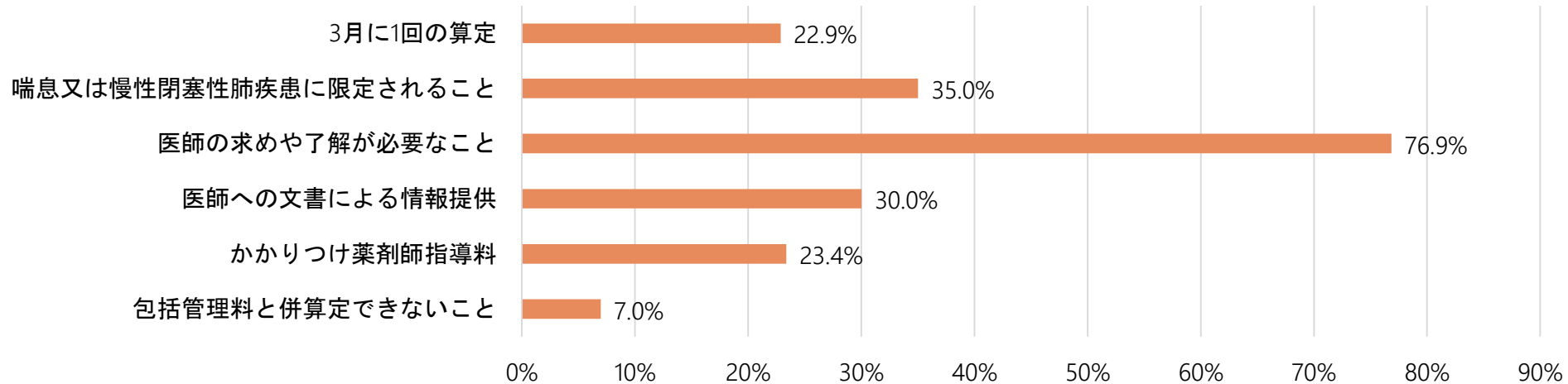
Q4-5.喘息又は慢性閉塞性肺疾患に対する吸入薬を含む処方箋を応需する薬局にお聞きします。

吸入薬指導加算の算定にあたって障害となるものについてお教えてください(複数回答可)(N=3201)

○3月に1回の算定...732件 ○喘息又は慢性閉塞性肺疾患に限定されること...1121件 ○医師の求めや了解が必要なこと...2460件

○医師への文書による情報提供...961件 ○かかりつけ薬剤師指導料...748件 ○包括管理料と併算定できないこと...223件

○その他...202件



◆その他（フリーコメント）

- ・インフルエンザ治療薬などに算定できない
- ・お薬手帳の持参忘れ
- ・患者の同意が必要と報告書記載時間の確保
- ・長期使用されている方の場合、算定による負担金増があり患者から不要と言われる
- ・医師の理解が得られないこと
- ・コロナでの吸入指導が難しい
- ・デモ器による指導を何回も行うと患者からめんどくさがられる 「またやるの？」みたいな感じ
- ・咳喘息など一過性での吸入処方が多い 気管支喘息ではないため条件を満たせず算定に結びつかない
- ・患者が時間に余裕がなく、その場で吸入実践してもらう時間がなかなかとれない
- ・患者が多く待ち時間がかかっている時には、算定しにくい
- ・患者に料金の説明などすると、断られる
- ・患者本人が来ない 家族しか来ないので指導したくてもできない
- ・吸入が出来ていないという判断基準が難しい
- ・吸入チェック表など共有できるツールがあればよいと感じます
- ・医師との話し合いにより服薬情報提供1として扱っている
- ・居宅療養管理指導算定中にて併算不可
- ・吸入指導の指示を頂くのにFAXにて疑義照会を行う必要があるのだが返事を頂けるのに15~20分かかってしまう
- ・今までと同じことをするのに患者からお金を頂く罪悪感
- ・処方箋に医師指導の指示が必要だが了承してもらっても記載がないため
- ・吸入指導が必要と思っても、患者または家族からの了承が得られない
- ・薬剤変更無しに何度も患者様へ負担を強いる事が障害

Q4.以下は該当する薬局のみご回答ください。

Q4-6.調剤報酬の点数はつかないが必要な業務として取り組んでいるものがあればお教えてください。

例文 プロトコール、多職種への情報提供、地域連携パスの活用など

- ・患者入院に伴い病院薬剤部に患者サマリを提出
- ・他職種への情報提供(他施設保険薬局、ヘルパー、ケアマネ)
- ・禁煙指導
- ・インシュリンなどの自己注射の手技の指導
- ・プロトコール
- ・他職種への情報提供 (MCSを使っての他職種連携)
- ・地域連携パス (糖尿病・癌疼痛) の活用
- ・麻薬を無菌製剤として調製する時、希釈せず原液で調製すると、無菌製剤処理加算が算定できない
- ・医師の意図していた内容に問題があり処方内容が変更になった時に点数が算定できない
- ・医師から処方内容の相談を電話で受けることがほぼ毎日複数回あるが、それについて算定できる点数が無いいため算定がない
- ・緑内障治療を行っている患者に対し、「緑内障確認カード」を眼科医と協力して作成、交付
- ・近隣医療機関への薬剤情報提供 新薬や新規適応の追加、GE発売等
- ・高齢者、ひとり暮らしなど服薬状況が怪しい方を地域包括センターと連絡をとり、相互に見守り
- ・施設への新規入所様の持参薬の整理
- ・一包化薬の中で服用中止の薬剤が生じた際の再分包
- ・栄養士との連携による栄養指導
- ・点鼻薬の手技の指導 エリザス点鼻薬が繁用されるが手技の説明には吸入と同様に時間がかかる
- ・特養への薬剤師介入 点数は管理料 (特養) のみの算定だが、配薬や体調変化の聞き取り等、在宅、居宅と大差ない業務を行っている
- ・認知症が疑われる方や自立支援が必要な方へ地域包括支援センターの紹介
- ・クリニックとの定期的なカンファランス
- ・往診同行による処方提案 処方箋発行前に薬が変更になるため加算なし
- ・他の薬局への情報提供書、当薬局が受けていない医療機関への情報提供書、在宅患者のリハビリ
- ・訪看さんへの情報提供書等
- ・OTCや他で処方されたものに対する相談
- ・地域の住民への方へのお薬手帳普及、GE医薬品についての説明講演

アンケートに関する内容問い合わせ

一般社団法人 日本保険薬局協会 事務局

03-3243-1075

E-mail : webmster@nippon-pa.org